京城日報

本紙定價　壹部金□錢　一箇月七十五錢▲前金拾五週郵稅▲前金▲六箇月前金▲壹箇年前拾圓▲郵稅代用二割增
廣告料金　五號十五字詰一行一圓五錢同特別二圓▲二號七字詰同二圓▲三號八字詰同二圓▲四號九字詰一圓五十錢同六號十七字詰一五
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社
電話番號　編輯局　六千九番一　六千九番二　營業局　六千九番三　六千九番四　振替京城三〇〇番

六月十九日夕刊（朝刊併せて八頁）

◇條約一部變改　獨調印か拒絶か　＝クレマンソー氏の添書＝

聯合國の對獨最終回答は既報の如く十六日を以て交附されたるが其諾否に對しては五日間の猶豫を與へ承諾せば直に調印することゝし若し拒絶せば休戰期間を二十一日限り滿了のことゝせり尙講和條約は平和と正義とを確立せしめんが爲め聯合國に依りて強硬に主張せられ只或る種の變改を施されたり該變改事項中には（一）上部シレシヤに一般投票を行ふこと（二）西部普魯西國境整理の件（三）獨逸軍隊を二十萬に增加の件（四）戰爭の法則及び慣例違反嫌疑者の姓名書を一箇月以內に聯合國に提出する件等なり次に獨逸が其義務を履行するに於ては將來獨逸を國際聯盟に加入せしむることを保障せり又此の回答と共に交附したるクレマンソー氏の添書に於てクレマンソー氏は獨逸は講和條項が休戰條項と牴觸すとの理由を以て抗議したるが詰責し獨逸は今回の大戰勃發の責任者として世界より如何に見られつゝあるか獨逸委員は自己の地位を解せざるものなりと聲明し今回の戰爭は自ら文明國民と稱するもの・人道及び人民の自由に對して敢て犯したる最大罪惡なりと云へり（巴里電報）

◇獨逸對案拒絶　植民地並に山東問題に關する

講和會議特別委員會は植民地並に山東省問題に關する獨逸の對案を拒絶するに決せり（巴里電報）

◇四國委員會と賠償

四頭會議にて獨逸の賠償金額決定せざる際は聯合國委員會は條約調印後三四箇月內に全額を決定す可し同委員會は四國代表にして組織し日本、白耳義代表は利害關係事項の審議さるゝ場合に同委員會に列席す可し（巴里電報）

◇獨逸の諾否とウ氏

ウィルソン氏は近くブルッセル（白國首都）を訪問し若し獨逸が聯合國の回答を承諾せざれば其儘アントワープ港より歸米す可く又調印を承諾せば巴里に歸來し最後の會議に列す可しと（巴里電報）

◇佛國罷業勃發か　悲觀論者革命惹起を憂慮す

大規模の同盟罷業は十六日佛國全土に勃發せらる可しと憂慮されつゝあり其際獨逸は專ら對應政策を執るべく既に佛國勞働黨の領袖と獨逸人との間に靈犀一點相通ずるものありと觀測さる而して保守派はクレマンソー氏が時局を制する能はざるべきを虞れ又悲觀論者は佛國に再び革命起らんことを憂慮しつゝあり（巴里電報）

◇支那善後策注目　上海暴動事件＝日本官民憤慨

北京在住日本官民は上海事件の重大なるに鑑み表面沈默を守りつゝあるも內心非常に憤慨しつゝあり支那政府は十六日自發的に陳謝の意を表し來ると共に事件の調査及び今後の警戒に就き誠意ある陳述をなせりされど日本は今後支那政府の執らんとする手段如何に就き監視を怠るべからずとの意見を抱くものあり殊に支那政府は犯人搜査を緊張せるも支那警察權の行はれざる上海共同居留地に於ける事件なれば支那政府が果して如何なる手段に依りて善後策を講ずべきか大いに疑問としつゝあり（北京電報）

◇段祺瑞出盧か

在北京某政客は曰く周樹模內閣も王揖唐內閣も目下の形勢にては出現覺束なし結局段祺瑞氏の出盧を見る事となるべく段氏の出盧に就ては南方の陸榮廷、唐繼堯の兩氏とも既に默契成立し唯英國公使等の態度如何を憂慮しつゝあるも之れとて諒解を得る事困難に非ずと（北京電報）

◇梨本宮殿下

梨本師團長宮殿下は十九日午前九時旅順御着驛御發車駐屯部隊巡閱並に戰跡視察を了させられ二十三四日兩日間催すべき駐滿陸軍部隊長會議へ御出席二十五日午後御歸任の途に就かせらるゝ趣拜承す（大連特電）

◇間島學生妄動

十八日午後零時半間島局子街支那中學校師範學校の支那人及び鮮人學生は日本製麥藁帽子を被り大道演說を爲し帽子を破棄し排貨を宣言し凱歌を奏して歸校せりとの報あり（龍井特電）

○警務部長會議　＝第三日＝

警務部長會議第三日は十九日午前八時半より總督府第二會議室に於て開會山縣政務總監を始め各部局長官並に關係諸官前日の如く列席直ちに日程に入り午前中諮問事項等あり午後四時散會せるが總督府に於ける會議は之にて終了し二十日よりは憲兵隊司令部に於て會議を行ふべしと

○麥作良好　前年に比し增收

大正八年の麥作は發芽當時より冬季に亘り例年に比し氣溫の低下甚だしからざりし爲寒害を蒙りたるもの極めて少く越冬良好に行はれ且つ早春氣候順調に進みたるが故に發育良好なりしが其後降雨少く▲殊に四月中　下旬及び五月中下旬に於ける旱魃の爲南鮮地方に於て減收を見るに至りたるものあり今六月一日現在の作況に徵するに其の收穫豫想高大麥五百四十九萬七千三百三十六石にして之を前年に比すれば二十六萬三千五百九十三石（四分六厘）の增收にして之を更に前二年に比すれば四百十三萬八百三十三石（八分二厘）の增收なり小麥は今年百四十八萬一千三百三十六石にして▲前年に比し　十萬一千三百二十石（七分三厘）前二年に比し二十萬三千七百一石（一割五分九厘）の增收なり今大小麥收穫高累年對照表を掲出すれば左の如し

▲大小麥收穫高累年對照

年次	大麥（石）	小麥（石）
元年	四、六六三、二四五	一、〇九九、四四一
二年	五、二三三、八〇五	一、二七一、八六八
三年	四、六三三、三九五	一、二四一、五四六
四年	五、一六八、一〇〇	一、二〇〇、三〇五
五年	四、八〇一、一二〇	一、三二七、八〇五
六年	五、〇三六、九六六	一、三七七、八八五
七年	五、二三三、七四三	一、三八〇、〇二六
八年豫想高	五、四九七、三三六	一、四八一、三三六

▲地方別大小麥作豫想表　之を地方別に表示すれば如左

道名	大麥（石）	小麥（石）
京畿	五五五、四一八	一四四、七五九
忠北	三七四、一四六	七四、九三九
忠南	四九〇、七四五	八〇、六八〇
全北	三三三、三七七	三三、三〇八
全南	一、〇〇九、九八一	九八、九五五
慶北	九七三、三四四	一八九、一三三
慶南	八八一、〇〇八	九九、九八三
黃海	九九、二一五	二四三、二三三
平南	一三六、八五五	一三四、三九六
平北	一六八、九六六	五、五五五
江原	二〇一、六九八	一〇二、三三七
咸南	一三三、〇四七	三三、一九三
咸北	一三五、四三三	一、三七七
總計	五、四九七、三三六	一、四八一、三三六

○會寧炭の增掘　東拓資金融通　輕便鐵道敷設

會寧秋重德太郎氏の經營に係る會寧炭の增掘に就ては撫順炭制限の結果石炭の不足鮮內に於て夥しく船舶業者其の他より同炭の需要旺盛に付氏は春來增掘計畫を樹て其の第一著手として會寧より現在の採掘地たる白土洞に至る八哩の輕鐵を敷設し更に各種の設備を行ふため東拓金融部に對し資金の融通を交涉中なりしが最近二十萬圓の貸出しを受くる事となりしに付十八日軌條は橫濱に於て之を買約し至急會寧迄附の便を圖り又トロは東京畑中鐵工所に製作註文中に付來る九月末までに竣成すべく線路の敷設と共に少くも十月には現在の牛車運搬を全廢して輕鐵の輸送によるべし從つて本年同炭の出炭は三萬二三千噸の豫定なりしも輕鐵敷設に伴ひ少くも五萬噸以上を採掘すべく右の中清津に三千五百噸羅南に五千噸會寧に八千噸を供給し殘餘の約三萬二千噸は船舶並に元山方面及び浦鹽方面に輸出する事となるべきが申込激增のため炭價も清津渡し十二三圓見當に上れりと

○勞働會議の內容（十）

四月三日在巴里　本社特約員　上田碩三

◎例へば日本が國際勞働會議の決議に對し日本の事情に適合せざるの故を以て之が實施を飽くまで躊躇する場合、勞働會議は他の方法を提供して日本に迫ることが出來る、斯かる場合日本は素より條約上之が強制を受くるが如きとはないとしても既に日本が國際聯盟の一員として共に勞働會議に列する以上、それもこれも國情に反し又は勞働狀態尙ほ未だ其の域に達せざるの故を以て一々峻拒し去ることは徒らに聯盟諸國の間に疑ひを醸し延いては日本の不信をさへ呼ばれぬとも限らぬ、のみならず其處に至つては國內の實情亦到底之を許さず爲めに或は資本家と勞働者との間に軋轢を生じ種々の面倒なる事件を惹き起さぬとも限らぬ、吾人は再び言ふ、我が爲政者も資本家も又勞働者も此事機を則、翻然として自覺し以て健全なる產業機關の樹立を期せよ、舊習に拘み、保守を事とし、而して矛盾不徹底の間に何時までも貧金時代を夢むるは決して國運の隆盛を圖る所以ではない

◎却說バーンス氏に引續き佛、日、伊及印度の代表委員は交々起つて賛成演說をした、各演說者皆夫れ〲其國に於ける勞働者の背景を、殊に白國のヴァンダーヴェルト氏は人々知つたる社會主義の人、其の演說は比較的長かつたが其の終るや多大の喝采を博し殊に拍手は新聞記者席からも起つた伊國の委員は賛成演說の內にも其の最も重要問題とする移民の自由に關する提案を引用し勞働委員會は該案を否決せるも伊國は他日を期し飽くまでも之が通過を圖ると一種の保留を發表し此の他、玖馬、ポリヴィヤ、エクワドル、其の他南米諸國の代表は條約第三十七條に對し自國の憲法と衝突するの故を以て賛否の投票を留保した、斯くてバーンス氏の動議を以て賛成を起立に問ひクレマンソー氏はバ氏の修正と共に原案滿場一致可決を宣し直ちに散會、時に午後五時半

◎之より先き豫想されたる日本委員よりの修正動議はバ氏の修正可決により其の必要なきに至り更に當日我が牧野男は一場の賛成演說をなすべく其の演說草稿は英、佛文を以て夫々通信社の手に渡されて居たが突然模樣變へとなり男は遂に起たなかつた、其の間の消息を傳ふるものゝ或は言ふ、是れ當日日本全權委員の主席に坐つた西園寺侯の指令によるものであると、當日傍聽に行つた日本人中には又しても日本委員の沈默を憤慨するものもあつたが何れにしても賛成の百姓演說なれば、無くもがな、殊に記者は男の演說草稿を通讀して寧ろ賛成演說としては過ぎたるものを見るに及んで男の起たなかつたのを喜んだ（完）

○朝鮮の不動產金融　活動の餘地多し＝鈴木東拓金融課長談

日本勸業銀行より東拓に入り京城支店金融課長に就任せし鈴木一來氏は語る一通り金融業務の狀況を調ぶれば各地を旅行して實際の模樣を視察し及ばず乍ら今後朝鮮の不動產金融に關する所見も立て見たいと思つてゐます然し大體に於て朝鮮の▲不動產金融　は今後尙ほ非常に增加し又增加させて內地の開發を企圖せねばならぬと考へる內地の例を見るに母國の所謂不動產金融と目すべきものが幾千あるかと云ふに私の記憶によれば日本勸業銀行の貸出し一億八千萬圓見當各農銀の貸出し一億二三千萬圓であつて三億圓强と云ふ狀態である此の三億圓は不動產に出てゐる內地總資金の總計に當るかと云ふに內地の不動產金融の總額は何れも推定であつて確實な數字は分らない、然し乍ら地方銀行の融通、個人の貸附その他を合し先づ十二三億圓と云ふ數字は當らずと雖も遠からぬ所であらう、さすれば勸農兩行の融通は總貸出高の二割五分位の所を持してゐる▲翻つて朝鮮に於ける此種資金の普及如何殖產銀行と東拓の貸出しが未だ字である且朝鮮不動產金融の總額に對する割合はよるべき總額の調査がないため何とも云はれぬが要するに朝鮮の大を以てしてその不動產金融の總額が殖銀東拓を合し三千萬圓そこ〲であると云ふ事は繰返すやうだが將來開拓の餘地の極めて多い事を思はさる、尤も土地は大きくとも內容の充實乃至事業の興起土地の改良水利の普及等の實現を見れば資金貸出の大は望めぬ譯ではある又その內容充實の境地に行くまでにも多くの資金を必要とするのである、朝鮮の土地調査が終つて不動產登記令の施行も普及し農產の騰貴と共に地方の民力も進み來り事業能力の進展も大であらう更に最近に至つては▲財團登記令　の實施もあつたから今後の不動產金融は餘程やりよくなつたのである斯る際に於て予は第一に東拓の如き低利な資金供給機關の利用を一般に求め不利な舊債の借換の如きに對する便法を講じ各出張所金融係りを一層活動せしめ一層營業的ならしめ開拓資金の普及を念としたいと思つてゐる

○春繭出廻漸增

西北鮮地方の繭の集散地たる龍山には昨今春繭の出廻りを見、內地製絲業者の買付開始と共に仲買人問屋は漸く繁忙を來し市況著しく活氣を呈しつゝあるが最盛期は兩三日後なるべく本年の繭價は未曾有の高値を唱へ逐次昂騰の氣勢を示し居れる爲從つて朝鮮產繭も高値を現はし昨年最優等は一石十圓內外なりしも本年は並品にして十圓內外を唱へ最優等に至りては十一圓を突破する形勢あり本年春蠶の成績は未だ判明せざるも先づ大體に於て良好なるべしと

○上半貿易

千七百八十六萬四千圓　累計二億五十三萬餘圓

六月上半期中に於ける朝鮮貿易は輸移出品價八百二十六萬九千百三圓、輸移入品價九百五十九萬四千九百七十六圓合計一千七百八十六萬四千七十九圓にして▲輸移入超過　一百三十二萬五千八百七十三圓なり一月以降の累計は輸移出八千八百六十八萬七千七百六十四圓、輸移入一億一千一百八十四萬八千八百六十三圓合計二億五十三萬六千五百二十三圓にして之を前年同期に比すれば輸移出に於て三千七百十四萬六百二十五圓、輸移入五千九十四萬二千七百七十三圓合計に於て八千八百八萬三千三百九十八圓の增加を示せり本期間に於ける出入金銀は▲輸移出皆無　輸移入六千六百十三圓にして一月以降の累計は輸移出一百七十八萬二千六百七十一圓、輸移入二十二萬九千九百二十八圓なり之を前年同期に比すれば輸移出に於て九十八萬六千九百七十八圓を減少し輸移入に於て十九萬五千六百四十三圓を增加せり當期間中の各港別輸移出入品價左の如し

▲輸移出入品價港別表

港名	輸移出	輸移入
仁川	一、〇七八、一三八	三、三三三、七〇七
釜山	二、六三四、九三六	二、〇九九、四〇〇
元山	三九九、〇四〇	三三〇、九九一
鎭南浦	八六九、七六四	一、三四四、六六六
京城	三三一、六六七	一、〇五三、一〇八
群山	九九九、四〇八	一九九、八〇四
木浦	四四九、〇〇七	一三三、六四四
大邱	三八、七六八	三三六、一八二
馬山及鎭海	一六六、九〇〇	六八、〇〇五
淸津	三〇九、一二一	一〇七、〇二三
城津	三三、三三五	四九、〇九九
新義州及龍岩浦	四三三、四四九	六〇一、四二九
平壤	四〇、〇三三	三〇六、八八八
合計	八、二六九、一〇三	九、五九四、九七六

○朝鮮醫學大會　愈よ九月に決定

本年五月開催の豫定なりし朝鮮醫學大會は都合に依り延期されたるが愈來る九月二十四五の兩日朝鮮醫學專門學校にて開催すべく右列席の爲め東大より婦人科岩瀨博士京大より生理學石川博士福岡大學より生物學宮入博士等來城すべく又滿洲より河西上野兩博士和田醫學士等多數醫界の權威京城に集まるべしと

○米豆鑑定講習會

全鮮米穀及び大豆檢查鑑定講習會は二十日より釜山に開催せらるゝ全鮮穀物商大會を機とし來る二十二日より二十四日迄三日間釜山府廳樓上に於て總督府技師綾田豐氏統裁の下に開催、全道米穀並に大豆檢查所長、主任及び上席檢查員等出席すべきが第一日たる二十二日は總督府並に各道選出の協議事項、二十三日は實地鑑定の講習、二十四日は午前注意事項、午後綾田技師の米豆檢查に關する講演等あり以て終了すべしと

○穀商大會出席者

二十、二十一兩日釜山に開會さるべき全鮮穀物商大會の出席者左の如し尙ほ總督府よりは綾田技師下釜すべし（釜山）

慶尙北道輸移出穀物改良組合三名▲群山米穀商組合八名▲京城穀物商組合八名▲鳥致院穀物商組合三名▲平壤輸移出穀物商組合二名▲江景米穀商組合五名▲元山米穀商組合三名▲水原穀物商組合二名▲新義州米穀商組合二名▲仁川穀物商組合六名▲大阪滿鮮貿易商組合八名▲鎭南浦輸出穀物商組合四名▲筑前直方米穀商組合一名▲木浦穀物商組合三名

○東拓哈市支店

東洋拓殖會社のハルビン支店は兩三日前吉植支店長同地に着任し川上奉天駐在理事も十八日奉天發同地に向ひたるが支店の所在地は埠頭區ノウオゴロドナヤ街千四百二十號地を借入れ決定したり

○七十九聯隊檢閱

第二十師團管下諸隊の第二期檢閱は十九日より開始したるが龍山步兵第七十九聯隊にては來る二十六日より實施すべしと

○東畜稍上向く

東洋畜產株は東拓の娘會社と云ふ點より東拓の人氣好勢を移して最近ヂリ高步調となり本日は四五日前に比し一圓高の十六圓にて三十枚の商內を見たり

○普通學校認可

平安南道大同郡に兄山公立普通學校設置の件は十八日附け認可ありたりと

○全州興產認可

福島二一氏よりの申請に係る全州興產合資會社設置の件は十四日附許可ありたるが同社は本店を全北全州郡に置き資本金五萬圓を以て生產品委託買付其の他の營業を營むものなりと

○米國前大使入城

前駐日米國大使ボッター氏は鮮滿支視察の爲東京駐劄同國大使館附武官陸軍大佐ボールドウヰン氏外一名と共に十九日朝內地より入城久水外事課長等の出迎ひを受け朝鮮ホテルに入りたるが一行は同日同國領事カーチス氏の案內にて市內の視察を爲し二泊の上二十一日出發奉天より北京に入り上海に出で夫れより橫濱に赴き同地より乘船歸國の豫定なり因に長谷川總督より滯京中饗應の意を申出でしも都合に依り辭退せる由

○柳澤伯動靜

滯城中の柳澤伯は十八日總督府に於て國勢調査其の他の調査を爲したるが十九日午後二時より田中總督府事務官の案內により京城府廳、本町警察署等に赴き戶籍事務其他に就き視察する所ありたり

○軍判任官懇親會

二十一日午後六時より龍山偕行社に於て軍司令部判任官の懇親會ある筈

人事消息

▲片山繁雄氏（鮮銀理事）▲飯泉幹太氏（鮮銀秘書役長）東上中の處十九日午後七時五十分着列車にて歸城▲寺地參謀　十九日朝五時四十分釜山着直に聯絡船にて內地に向ふ（釜山特電）▲兒玉友雄氏（參謀本部員步兵少佐）十九日朝釜山上陸十時急行にて北行せり（釜山特電）▲高野省三氏（三井京城支店長）十九日釜山へ▲原田軍司令部副官　十九日夜東上▲多田榮吉氏（新義州木材會社長）十九日朝入城不如火へ

八面鋒

◆巴里に設立總會を開きたる世界改造株式會社は其の重役を出したる米國より先づ反對の聲を揚げ米國上院は前國務卿ノックス君を御大として一般講和條約と國際聯盟を分離すべしと高唱す、國際聯盟より講和條約を切り放せば如何其は全く出來ぬ相談也、出來ぬ相談を注文するは堂々と反對するよりも皮肉也、殊に上院に於ける決議案は對愛蘭獨立同情案等とは異なりて、實際直接に上院が批准するか、否かの權利を持ち居れば、國際聯盟に取りては、由々敷問題也、若し夫れ上院が拒絶せば其の結果聯盟規約に從つて、加入國は米國を共同敵として取扱はざるべからず。

◆批准か、拒絶か、ウィルソン君の面目を立てるか、踏み潰すか、試みに上院に於ける形勢を見るにノックス案は七票對八票の多數を以て委員會を通過せり、從來の實例を見るも、外交委員會を通過せる決議案は、大概上院を通過す況んや共和黨が四名の多數を占むるに於てをや。

◆米國の憲法に於ては條約の批准は上院議員三分の二以上の同意あるを要す、傳ふる處によれば上院議員九十六名中三十四名は國際聯盟反對の意見を有し居れりと、されば國際聯盟と不可分たる講和條約に對し、三分の二以上の同意を得るは、今日の處至難の形勢にあり、ウィルソン君も亦心配なる哉。

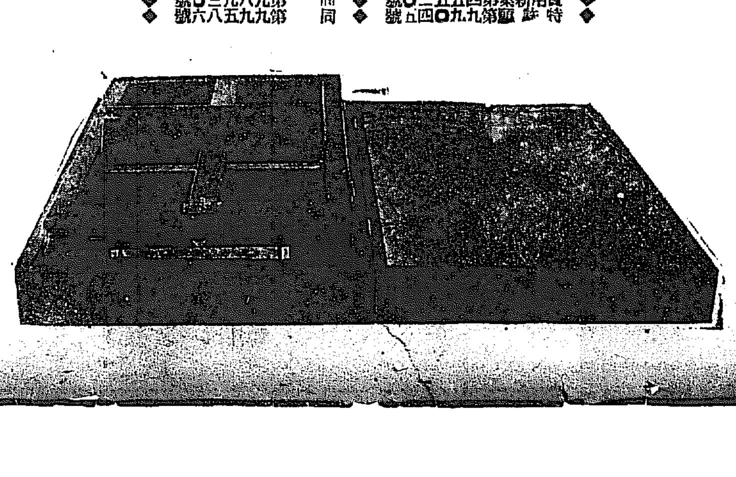
◆傍若無人的の外交は、米國一流のお得意也、愛蘭獨立是認を上院にて決議し、英國人をして目をパチクラかしたる上院議員、今回は自家大統領を窘窮せしむると共に、世界の政治家を困惑せしめ、撫觸しつゝあるは、當に現代の一大奇觀にして、且つ大茶目たるを失はず。遮莫一時全米を籠蓋し、反對者は國賊視せられたる程大威望を荷ひたる大統領ウィルソン君丈け、其の反感の漸次助長と共に今や國內に一大敵國は生じたるは既に滿開を過ぎたる牡丹の如し、其の衰勢は、早くも昨年十一月に於ける總選擧の際、世人の耳目を引けり。如何なる高山も峠を過れば下り坂となる、其の今日ある、亦敢て奇とするに足らざる也。

謄寫版ノ一大革命

▲最一式謄寫版▼

現在幾多ノ謄寫版ハ一般需用者各位ガ謄寫上諸種ノ欠點ヲ認メラレツヽアリ本器ハ之等ノ欠點ヲ補ヒ時代ノ要求ヲ充スベク

◆專賣特許第二〇三八一號◆
◆實用新案第三五〇〇五號◆
◆實用新案第四五五二〇號◆
◆特許願第九九〇四五號◆
◆特許願第九八九二八號◆
◆同　第九八九二九號◆
◆同　第九八九三〇號◆
◆同　第九九五八六號◆



從來ノ同機中比類ナキ完全ナル兩面ノ謄寫ヲナシ得ル外一々「インク」ヲ「ルーラ」ニテ送ルカ如キ不要ノ手數ヲ省キ『インク』判ニ一回『インク』ヲ塗付スレバ『ルーラ』ノ一回轉ニテ數百枚ヲ少時ニ最モ鮮明ニ謄寫ナシ得ルノ特色ヲ有シ且ツ英邦文タイプライターノ謄寫ハ本器ノ最モ得意トスル處斯界ニ於ケル利便ノ完備セルモノトノ御賞讃ヲ博シ居候何卒本器ノ絕大ナル效果ヲ是非御試用ノ上陸續御用命奉願上候

製造元　合資會社　松永最一堂　京城府太平通り二丁目八五
朝鮮總代理店　株式會社　常盤商會營業所　電話長五七六番
一手販賣部　京城日報代理部　振替京城三〇八番
型錄及定價表御申越次第送呈

鈴辨事件の餘波
神戸檢事局の大活動 湯淺商會搜索を受く 多數の證據品を押收

【神戸發電】十七日午後三時頃神戸地方裁判所は突然色めき渡り淺見豫審判事、沖原の三豫審判事は秀島以下三檢事と共に三手に分かれ何れにか出動せり軈て其の一手は同市榮町湯淺商會取締役兼外米主任土橋國利氏の自宅に臨み家宅搜索を行ひ殘りの一手と合して山本通湯淺竹之助氏の本邸に到り家宅搜索を行ひたる上多數の證據書類を押收して引揚げたり事件の內容は不明なるも山田憲の慘殺せる鈴木辨藏に關聯せるものゝ如く湯淺氏は鈴辨の外米取引に關係ありしと傳へらる（下關特電）

事件益々擴大す
湯淺東京支店長、外米主任贈賄罪で起訴さる 農商務官吏も取調べらる

十七日神戸湯淺商店東京支店に檢事出張家宅搜索を爲し多數の證據書類を押收し同支店長山下卓爾同店外米係主任尾澤三郎兩名は十八日朝檢事局に召喚され取調の後兩名共贈賄罪として起訴され東京監獄に收監されたり尙事件は漸次擴大し農商務省關係者又は他の外米商にも及ぶ可き形勢にて大阪外米問屋岩井も家宅搜索を受け又農商務省外米係り二名も亦取調を受けたりとの說あり（東京特電）

山下卓爾等收監さる
檢事局飽迄糺彈せん

【別報】鈴辨殺しに關聯し山田は勿論其他の農商務官吏との間に不正事件あるを其筋にて探知し東京地方裁判所に於て極力其方面の調査中なりしが果して十七日夜神戸に本店を有する外米指定商湯淺貿易會社

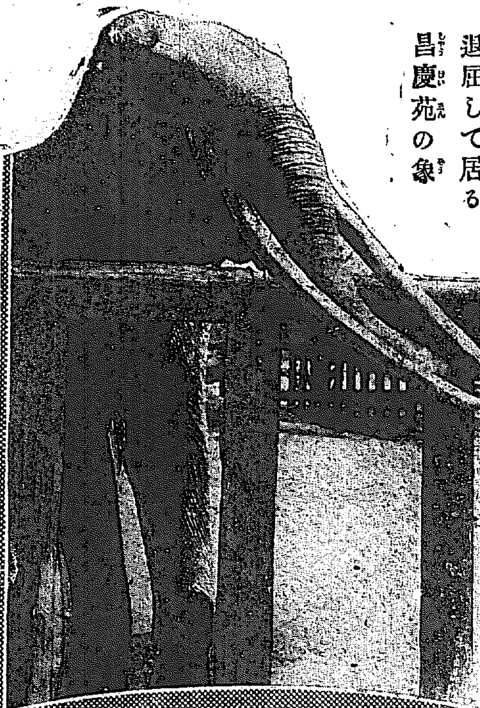
東京支店長 赤坂丹後町居住山下卓爾及び日本橋區阪元町同社東京支店々員小澤三郎の兩名は東京地方裁判所河島豫審判事の手にて東京監獄に收監せられたり這は山田の取調進捗に伴れ不正事件發覺したるものなる事は勿論なるが探聞する處に依れば右兩名は山田を始め農商務省官吏某々等に金品を贈賄せしものにて夫かあらぬか同省の

高等官某氏 は十七日東京地方裁判所に召喚せられ取調べを受けつゝあり然して其筋にては此間に潛める不正事件を飽くまで闡明する意氣込みにて檢事局と豫審廷とは他の事件を後廻しとなし總出にて大活動を開始せるが果して鈴辨殺し事件は外米部官吏の秘密を暴露し來らんとするものゝ如し（東京特電）

乘切る
名代の急流を 關門に於ける山田憲

鈴辨殺し山田憲は昨年六月六日つぎ子と云ふ高襟の妻と同行にて門司に來り山田は成るべく人目を避け同地より御用船春日丸に搭乘外米調査の爲め其產地に出張せんとしたるに春日丸入港遲延したるを以て門司矢口旅館に約十日間滯在し其間布刈神社筆立山に遊び又下關に來り有名なる小門の急流を乘切りたることもありと（下關電話）

妻は離緣 殺人犯人山田憲妻ツギ子は山田と離緣の事に決せり（東京電話）



退屈して居る昌慶苑の象

白米騰る
一升四十三錢 昨年の高値を再現

白米小賣相場が二十日から一升に付五厘上がつて四十三錢となる昨年八月の高値が又來た譯である原因は內地高の影響を受けたのと京城は鮮內各地に比して一番安いので今度の値上げも止むを得ないと其道では語つてゐる

尊由師來期
廿一日夜

大谷尊由師は二十日夜入城の豫定なりしも一日延期し廿一日夜入城する事となりたり

金谷陵に參拜

十九日午前十時李王職閔長官並に國分次官武藤事務官を隨へ金谷里御陵に參拜し目下施行しつゝある御陵工事狀況を視察したりと

執念の蛇
全南で大評判 兩班の娘と下僕の執拗なる戀物語り

林幸太郎の『執念の蛇』は劇にまで仕組まれて隅々まで知れ渡つてゐるが、今それによく似た事件が木浦の近所に出來した、噂の發源地はつひ近所の務安郡三鄕邑で其處の何の何某といふ兩班の家に

▽**今年十八** 許りになる某といふ一人の娘が居る、非常に優れた容色の持主で、方々から良緣が降つて來る、それでも今もつて片付かないで居る、噂は多分そこらから生れたのかも知れぬ、同家には娘と同年輩の下僕が居つた兩人は何時の頃からか

▽**深い戀仲** に陷つて情を通じ末の語らひも堅く交して居た、其事を嗅ぎ付けた兩親は娘を思ふ一念に下僕風情と一口に云つてのけ何の情もなかつた二人は生木を劈くように無慘々々と戀仲を割かれた、そして身の置き所のない下僕は主家を追ひ出された、其日から糊口にも窮する破目になつた、けれど

▽**初戀の情** は忘れ難く野山に伏して明け暮れ嘆きつゞけて居たが果ては病を得て果敢ない最後を遂げた盡きぬ恨を此の世に止めて空骸は里人の手に葬られてまだ幾何もならない此一箇月後のこと或る朝娘の母は何時もの如く朝餐を調へんとて米櫃の蓋を取ると

▽**丈餘の蛇** が櫃の中に蟠踞まつて居た母親は悲鳴を擧げて救ひを求めた、其の聲を聞いて近所の人まで馳けつけたが餘りの意外に之等の人々も施す術を知らず只打騷ぐのみであつた、娘は其日不思議にも朝早くより外出して家に居なかつた軈て大勢の人達の中から姿を現はして房內に這入つた、娘が房內に這入ると今まで何事もなかつた蛇は俄然

▽**鎌首を擡** げて飛び宛らうとした、けれど娘は恐しも愕かず、唯もう下僕が歸つて來た下僕が歸つて來たと大悅びである蛇は其儘娘の首を締め肌に添つて尻ッ尾を僅に下部に垂れた戀の敗殘者の下僕は今でも斯うして執拗に娘を呪つて居ると云ふ事だ

惡疫漸く多し
下水の不完全な龍山 塵箱には必らず蓋をせよ

京城に發疹窒扶斯流行の兆ある昨今じめ／＼した鬱陶しい日が四五日續いた爲め胃腸の疾患が大分殖えたと聞き十九日、滿鐵龍山醫院に佐々木院長を訪ねて意見を叩くと佐々木學士は語りて曰く京城は發疹窒扶斯が可なり發生しつゝある樣であるが龍山には比較的少く其の代り

大腸加答兒 が漸く頭を擡げ新患者をぼつ／＼出して居る其他アメーバ赤痢腸窒扶斯も漸く增加の傾向を示してゐるが幸ひにして未だ疫痢は發生しない發疹窒扶斯の病原菌は日本でも知名の大家が熱心に研究してゐるが未だ發見されてゐない數年前撫順炭坑醫院は病原菌探究の結果不幸にも

夫れに感染 して職務に殉した實例もある發疹窒扶斯の豫防法としては患者を隔離して接近しない事は勿論患者を螫した蚤、虱、南京蟲から傳染する虞がある、から斯うした蟲の驅除につとめる一方蠅の驅除にも努力せなければならぬ蠅は總ての傳染病を媒介するから恐ろしい京城でもさうだが龍山は

殊に下水が 不完全であるから從つて蠅や蚊の殖く事が甚だしい龍山は一帶に砂地であり背葉を以て掩はれ塵埃の立ち迷ふ事も少いから衞生地であらねばならぬ筈であるが傳染病の比較的多いのは下水不完全なのと時々豪雨の爲め浸水し糞便が井戶の水と混雜になつたりするのにも原因して居やう此の際塵捨箱の取締りを嚴重にし

必らず蓋の ある塵捨箱を用ゐるやうに各戶で注意し又漢江の中洲に設けられてある、塵捨場の塵埃も完全に燒却する方法を取れば幾分か蠅も減じるであらう幾ら蠅取器や蠅叩きで蠅の撲殺を圖つても龍山町の目の前に塵捨場があるやうでは死で蠅を飼つてゐるに等しい、又傳染病ではないが時候不順、土地浸潤の爲め昨今

脚氣患者が 增加して來たやうである云々因に鐵道病院では目下ペスト虎列拉を除く他の傳染病は收容する許可を得てゐるさうだ

傳染病蔓延の兆あり
鍾路署管內

鍾路署管內に於る其後の傳染病はパラチブス九、腸窒扶斯八、發疹窒扶斯百五となり尙蔓延の兆あるを以て同署にては極力豫防中なり

合併相撲乘込近し
廿六日から五日間 東拓前空地で興行 素晴しい前景氣

東京大阪合併巡業大相撲約四百名は群山打揚げ後二十五日京城に乘込み二十六日から向ふ五日間東拓前の空地に於て興行の筈である。東京方は栃木山大錦の兩橫綱を始め東軍の精銳新銳を網羅し大阪方は橫綱大錦以下の花形揃ひであるから本場所同樣の面白い相撲が見られるわけである。一行は巡業各地に於て素晴らしい人氣を呼んで居るが京城乘込の上は一段の人氣を加へることであらう。

▼**初日の取組** ○印は大阪方

高の山	南の龍
九十嵐	逢の矢
逆鉾	海山
高城山	大泉
對出洋	稻の花
栃木山	福柳
若常陸	龍の浦
宇都宮	釋迦嶽
駒泉	西の森
常の花	源氏山
御西山	大錦
光風	朝千島
綾	鳥海
大門岩	朝日嶽
一湊	朝日山
兩國	大錦

感ずべき面長
一般の同情集る

五月十五日開川郡下面花溪に於ける騷擾に際し同面長金尚淳は部下職員を指揮し面事務所の保護に努めつゝありしに

▲**多數の群衆** は同事務所に襲來し其狀態甚だ不穩なりしを以て面長は其時直ちに總督の諭告を手にし自ら群衆の面前に立ち極力之れが不心得を諭したるに群衆は却つて面長並に會計員崔柱翊に暴行を加へ遂に面事務所を燒き尙飽き足らず面長及び會計員の私宅にも放火し所有財產をして

▲**空しく灰燼** に歸せしめしが其の災厄は頗る同情に堪へざるより過般道廳三田一部長、朴參與官、山崎二部長、三木事務官等發起となり官民大方の同情に訴へ義金を募集中なるが此程二百七十五圓餘の醵金を得たるより慰問狀に添へ面長及び會計に贈れりと

臺所から觀た龍山の奧樣氣質
敢て問ふ孰れが良いか

『俺は龍山でもお得意先の多い方で陸軍の官舍にも鐵道の社宅にも每日廻りますが陸軍側と鐵道側とは全然奧樣方の氣風が違ひますよ』と一魚屋の主人は語る『陸軍の官舍へ魚を擔いで參りますと『今日は……』と云ふ私の聲を聞くなり奧樣がお出ましになり今日は何かあるのと直

◇**板臺の側** に來て御覽になり例へば鯛なら鯛をお求めになるにしても先づ幾らだと値段をお尋ねになり二枚も三枚も氷の下から引き摺り出して是は肉附きが惡いの是は眼が死んでるのと仰しやつた上『では半分買ひませう』頭をうしほにするから其の積りで切つてお呉れ後は煮付けにする樣に切つてと中々御面倒な御註文です

◇**同じ片身** でもやれ骨付の方を取けておけの子でもあれば夫も取りておけのと隨分賣り難くつて閉口しますが月末お勘定となりますと何處も綺麗にお拂ひになつて一錢とて値切る家もなければ來月にして呉れと被仰る家もありませんので助かります賣る時は七面倒臭くつて氣の短い奴は中ッ腹を立てますがお勘定が滯り無く戴けますので

◇**陸軍樣々** と悅んで居ります夫れに反し鐵道側では今日は魚屋で御座いと大きな聲で叫んでも何か奧樣同士が集まつてお喋りでも遊ばしていらつしやるのか容易に出ていらつしやいません二三度呶鳴りますとやツと奧の方からお姿も見せず魚屋さんかい？何があるのオヤ鯛と鰯かい一度位は鮑でも持つてお出でよ仕方が無いから鯛を片身置いてッてお呉れと被仰つてお魚なんぞ

◇**頰で御覽** になりません骨付であらうが無からうが子があらうが無からうが新しからうが古からうがそれはもう至つて鷹揚たもので――で要る方から云へば是程結構なお得意先は御座いませんがいざ月末となつて勘定を戴く日になりますと今月は都合が惡いから來月にして呉れのもう少し待つて呉れろのときちんと下すつた事はありません今月の御勘定を

◇**來月に戴く** 方は未だ好い方で二タ月も三月も放棄らかして轉勤にでもなられたが最後出入の商人は慘憺なものです一文だつて頂けません勿論鐵道社宅だつてピンからキリ迄あつて斯麼お家許りではなく全く立派な奧樣方もいらつしやいますがまあ孰方かと云へば此處のが多いやうです是れぢやいつ迄たつても安定な生活は得られませんね』と柄にも似合はぬ氣焰を吐いて手拭で汗を拭き上げた

惡辣な詐欺團
京城市中に橫行す 有福な田舍者と見れば騙し合せて捲き上げる

近來當地に數人若くは十數人を以て組織せる鮮人詐欺團がある金の有さうなポット出の田舍鮮人と見れば巧妙な奸手段を弄し金品を捲き上げて終ふので其筋では是が根絕の目的で目下嚴重に犯人搜索中である右に就き

▼**某法官は** 語る一團員は白晝鮮人の通行多き場所主に鍾路通りに網を張つて居て金の有さうな田舍者と見れば馴れ／＼しく傍に寄て來て種々な話をした上先方の名前を聞く名前が金と云へば實は自分も金と云ふ者であるから同族であるとバツを合せて居る處へ又他の一人の團員がやつて來て

▼**蝦で鯛を** 釣る樣な金儲け話をする而うして大抵支那料理屋へ連れ込んで田舍者の前で團員同志で賭博をやつて見せた上相手を誘惑す秘傳を田舍者に打ち明し此の手で行けば乾度儲かる事請合であると慾望を唆り立て、當いて更に他の團員を連れて來て賭博をさせ反對に金を捲き上げて終ふ若し金を持合せてない場合は家屋を

▼**抵當に金** を借させる而うして賭博の最中此奸計を看破された場合は他の團員が忽ち刑事に化て其場に飛び込み金を沒收して逃げ出す彼奴等に睨まれた以上何うしても逃れる事が出來ない樣に出來上がつて居るらしい田舍者は充分注意して此奸計に掛からない樣にするが肝要である

龍山幼稚園
增築竣工のお祝ひ

新龍山私立幼稚園では豫て拂下げの建築材料を以て增築中の處此程全く立派に出來上りましたので其お祝ひの式を二十二日午後二時から開催します、堂月主事の工事報告、石原園長の沿革に就てのお話などあつてから幼兒一同の可愛いお遊戲やら唱歌があるさうで當日は總督府からは關屋學務局長軍司令部からは宇都宮軍司令官を始め淨法寺師團長松永道長官金谷府尹も列席されるさうです

女房の縊死
病を苦にして

龍山青葉町三丁目八十番地井上千代藏妻みつ（二九）は十八日午後五時頃自宅便所明り取の格子に腰紐をぶらさげて縊死を遂げたるが原因は四五箇月前より喘息に罹り醫師の手當を受けたるも益々衰弱する許なるより世を果敢なみ斯くは悲慘の死を遂げたるものなるべし

悲觀して投身
京城

京城府蛤洞五十三番地自轉車修繕職張相麟（一九）は豫て並木町五十五番地の娼妓姿梅の色香に迷ひ放蕩を續けたる結果お定まりの金に窮したる一方姿と夫婦になり難き事情あるを悲觀し十八日午後一時半漢江人道橋中央部より上流に向ひ著衣の儘投身したり死體は搜索の結果投身の場所より下流約十間の河底に沈みゐたるを引揚同夜身柄を實父張殿均に引渡したりと

橫領して逃亡
新義州

新義州旭町一番地文具商島田叢文堂の店員熊本縣菊地郡原水村生れ佐藤政藏（二〇）は昨年二月以降同店に奉公中本年五月三十一日迄の間に商品代金四百三十五圓餘を集金の上其儘橫領逃亡したり（新義州）

狂人妻子を殺す
平安

平安北道博川郡德安面南五洞六百六十一番地居住朴勝富（四〇）は數月前より精神に異狀を來し居り家人も注意中の處本月三日妻愛爵（三〇）を棍棒にて撲り殺し三女莘根（三）次男千偕（二）をも同一手段にて撲殺したるを以て其筋へ檢擧され新義州地方法院支廳に移されたるが精神喪失者として不起訴處分となりたりと（安東縣）

數藤中尉戰死
會寧工兵大隊附將校 過激派斥候に狙擊さる

會寧工兵第十九大隊より西伯利亞派遣中の工兵中尉數藤一氏は十四日午前一時カラソウ附近巡察中過激派斥候の爲に狙擊され戰死を遂げたり（清津特電）

地久節と學校

來二十五日は地久節なるが龍山各小學校にては當日學校長より、國母陛下の御坤德に關する訓話ある由

薔薇園の收入

六月一日より開園したる朝鮮ホテルのローズガーデンは天候不良なりし爲め成績思はしからず十五日迄の開園日數十日にして入場者三百四名飮食品賣り上高三百六十圓なるが天候恢復に伴ひ漸次盛況を呈するに至るべしと

陸軍でも愈々工學士を將校に採用する事になつた今後益々陸軍には技術家を要する事となるであらう▲工學士と云へば目下龍山軍用無線電信建設の爲來城軍司令部に配屬してゐる石井英橘少佐は砲工學校優等の出身で同校から東京帝大に入學を命ぜられ同じく成績優良で卒業した工學士である▲日露戰爭の際任官匆々の少尉であつたが京義線の敷設には多大の苦艱を嘗めつゝ努力奔走し漸く目鼻が付くと同時に安奉線に派遣され安奉線の完成に貢獻する處多大なるものがあつた▲一見軍人とは思へぬ程溫厚篤實の君子であるが其精力の絕倫な事も群を拔いて居る▲大抵兵卒は中隊長殿なぞを隊の親爺と云ふが石井少佐の部下許りは少佐を家のお袋が……とお母さん扱ひにしてゐる

◇**電報平調に復す** 去月末より佐世保大連間海底電信不通となり爲めに下關京城間の電報[illegible]るに依り從來下關京城間一日平均[illegible]一時間餘を經過せるに過ぎず約二千五百通の通信なりしが昨今今後下關京城間は[illegible]輻輳する[illegible]は二千通內外となり殘り五百通は[illegible]は無かるべしと當局者[illegible]

[illegible]い、伊藤彥馬、加納淑子、鄕總奘、河澤、尾津興、小倉武助、小池信子、梶井盛、神田有、田中鐵太郎、星村伍次郎、天川勇、同すみの、同やゝら、武市偏吉[illegible]

右左の如し[illegible]等（六名）巨勢秦人、水の江圓夫[illegible]前田茂[illegible]

西村伊之助、梅村末松、藤井圓太郎、丹波德次郎、同すま、櫻井金藏、島谷儀、小林大吉、下野和、森方正、同方子、河村榮、同清、木村利作、小西[illegible]

天氣 京城地方 曇一時晴 [illegible]

京城 大阪 普通料金 四十錢 割引料金 廿五錢

蚊帳 并ニ 薄物陳列會
二十一日より
京城 三中井吳服店
御地方よりの御注文は地方係に於て充分撰擇の上即時御送付申上候
新著せし絽御召紋紗絽明石拔染刺繡入等蚊帳は弊店特約の本麻木綿縫目なし等極力薄利を以て御用命に應じ可申候間御來駕之程奉待候

大阪奉天間直通線新設せられた…十八日入港連絡船新羅丸上陸客氏名…

第一版

滿洲遠邇

(四九) 漸進君と再會　一貫生

赤塚總領事に敬意を表した、和服黑紋付羽織の總領事は快活に大に談ずる十二時半頃から二時頃迄お邪魔をした、奉天に於ける鮮人の模樣も能く判つた、滿洲に居る邦人の情態も知る事を得た、領事の殖民地統治論は却々徹底したものであつた話の内容は此處には抜きにする、兎に角快活な人である拙者は最初地味にして更發し流だらうと思つて、面倒臭ければ名刺一枚で失敬しやうと思つて居たら全く相違して遂には二時間も領事の卓説を拜聽したのは拙者の光榮とする處で、領事の議論が拙者の持論を相違からざりし事を愉快に感じた、其れから朝鮮人會を訪問して其夜長春に向つて出發した、列車には幸に乘客が澤山でなかつたウツラ〳〵と眠つて居ると『オイ、こら、又奇遇だね』と頭の上で怒鳴る者があるア、騷々敷い奴だと思ひつゝフト頭を上げて見ると、オヤ〳〵之はしたり大連で別れた漸進君だ『ヤー君かい』と云ふと『又ぶつかつたね』と云ふ大連の逃げ出し一件は先生頓と氣にして居らぬらしい、成る程身體がデブ〳〵肥て居る丈け度胸も大きい處があるワイ『大連では失敬したよ』と云ふと『何あにお互に旅行中だ其う相手にはかまつて居られぬからナア』と小々いやみを見すかと思ふと『君に電話を掛けたよ其したら今晩の汽車でお立ちになるつて停車場へ今行かれたと云ふのだ僕も見送りが面倒だつたから其の儘にして置いたよ』漸進君特意の處が出る何時も天眞爛熳な處が愉快だ『其れで澤山だよ時に何處迄』と聞ふと長春までだと云ふ拙者も長春迄だ好い道連れが出來た『奉天は何うだつたかね』と無くてはならぬポケツト、ウイスキーを捻りつゝ聞ふ『何うもない、奉天の酒も同じ味だね』と答へると『フウン』と云つてホイスキーを吞む『君達の觀察は衣裳の見物だ赤裸々の處を見ねば嘘言だよ』と論ず拙者は最ふ衣裳は充分に見たから君から赤裸々の處が聞きたいね』と云ふ『其れもよからう』とニヤ〳〵又ホイスキーを一と口『君も一つ吞み給へ』とコツプを渡して『サア何の方面から話すかナ』と鳥渡頭を傾けて居たが『君其れでは話すよ』と大分もつたいを付けた漸進君の高聲に前に寢て居た支那人は吃驚して眼を醒ました、後のロスキーは大きな目玉をクル〳〵させて物騷らしく眺めて居た、漸進君何を云ひ出すやら。

大連より

◎大連民政署は阿片漸禁主義を更に徹底的に勵行する事となり從來は管内阿片癮者に對し各自の漸禁の方法を執らしむる爲め小賣店を許し之れに一定量の阿片を毎日分賣せしめ其の賣先きの如きは餘り干渉せざりしが近來此の阿片小賣商人が癮者の吸食した餘分は悉く之れを一括して其國又に竄獨にて他に輸出し卸却する者尠からずして其の利る見るや爲さゞる處なきの徒なるを以て從つて近來上海天津方面に於て密輸中海關吏に發見せらるゝ者多く又大連市中に於ても時々多量の阿片を發見せらるゝ事あり

◎今回民政署は管内五十八戸の小賣店に對し阿片吸飮者に一定の分量以上を賣る事を禁じ一方吸飮者は民政署に召喚し其の身體の健康に準じ一日の吸飮量を定め購買通帳を下附し既に下附したる者一千三百餘名に達せり之れを假に吸飮者二千名と見て一人一日吸飮量は均一匁と見るも二貫目にして從來の一日一封度の煙地を一等煙館三個二等煙館二個三等煙館一個の割合に賣り下げたる量に比すれば甚だしく減少したるを見るべく漸禁の趣旨誠に徹底せりと云ふべし

◎斯くの如くして吸飮者の數と吸飮者の健康状態に絶えず注意を拂ふと同時に閣下は確實に按排すると同時に一面に於て北滿洲西伯利方面よりの取締を行はゞ幾くは漸禁の目的を達し得べく若し吸飮支那人の居住常なく新しき吸飮者の跡を絶つ能はずとするも此が爲めに救はるゝ者亦甚だ少からざるべし

◎或論者は支那に於て我國のみ獨り阿片を禁止するも某國の如きは其最初の阿片流佈者にして今も猶ほ街に巨量の阿片を密輸入し支那官憲又陽に禁止すると雖も陰に自ら之れ飮用し其の購買者に對しては單に賄賂の額により默許する状態なるに獨り吾面目に之を禁ずるが如き甚だ愚ならずや我國は如何に嚴禁するも到底支那人をして阿片より救ふ事能はず又斯く苦心して彼を救濟するも彼果して好感を以て迎ふべきやと一應最もなる議論なれども我が經綸を行ふに故を以て之れを傍觀し又救濟に對する好感の有無を以て危險に頻する者を放棄するの謂なし要は我等が人道を施き我が文化を行へば足るなり特に滿洲に於ける斯民を阿片より救濟する極めて必要にして區々の利害を云々すべき問題に非ず吾人は阿片漸禁法の徹底案を歡迎すると共に之れを勵行し更に密輸の徒を絶滅せんことを望むものなり(十四日)

胡馬越鳥

大連ヤマトホテルで開いた朝鮮關係者が出席した▲中でも遼東の吉倉翁などは古い方で明治二十六七年頃南鮮地方で盛んに活動したそうだ▲何んでも其の頃耕成の鐙に跡の直衣か何んかで白馬に跨つて軍配扇を以て東學黨軍を指揮したと云ふ事だ▲滿鐵の稻垣甚氏は京釜線敷設の際定線踏査から關係して居るから却々新しい方ではない▲其の頃南鮮地方は葉錢ばかりで土地の買收や何かの爲め數十頭の馬に錢を積んで旅行し釜山から京城まで十五日もかゝつたさうだ▲大連の油房界の巨頭齋藤久太郎氏も朝鮮には古く日清戰爭の折は朝鮮語通譯として第一軍司令部に從軍して居たそうだ▲大連の居住者も初めは朝鮮經由の內地人が勢力を占めて居たが何時の間にか凋落して其の後薩摩系の勢力が旺盛と成つたが近來又々朝鮮系が盛んに成つたやうだ▲數に於て鮮を經由して來た大連の內地人は全市民の三分の一弱は確に居るが資本家と稱すべき有力者階級は指を屈する程もない位だ▲市街地の狹隘に苦しみ拔いで居る大連でも從來市中の拔け所が數年間空地の儘抛棄されて居た所が非常に多かつた▲之等の土地は何れも富有の人々やある種の利權屋が借地權を得て當初の借地契約に反して建築もせず空地のまゝ轉々賣買して居つたのだが▲中野署長が着任してから市中の家屋建築に鑑み之等の空地借地人に對し今年七月中に建築に着手しなければ用捨なく其の下地を引揚げると嚴達したので昨今市中到る處に建築が始まりお蔭で大連市街の面目も一新するであらう▲大廣場の建築の白眉たる朝鮮銀行支店の工事も八分通り迄に進捗した落成の曉には一の美觀を添へる譯でもある其の向ひの露國領事館と商業會議所の敷地とは何時まで經つても草つ原に成つて居るが之にも早く建築させるが可い▲露國領事館の新築は今の所一寸困難かも知れないが會議所は何とか都合の付かぬ事はあるまい▲周圍の市街が段々立派に成つて行くから中央の大廣場と其れを圍繞して居る建物などが低くなつて摺鉢の底のやうに成りはせぬか(大連)

◎朝鮮關係者

親睦會 大連に於て

我民族と朝鮮半島

既報の如く大連居住朝鮮關係者親睦會は十三日午後六時より大連ヤマトホテルに開催來會者は中野民政署長、大田鮮銀理事、安川東拓支店長、阿部鮮銀支店長、澁澤民政署警務課長、三本滿鐵交通課長、稻垣甚氏、柴田滿日取締役、齋藤家則よりは齋藤久太郎氏、和田篤郎氏其他の有力者五十餘名參加し恰も來連中なりし大邱朝鮮民報主催の滿洲視察團一行十餘名を親睦會より招待し主客六十餘名に達せり午後七時開宴デザートコースに入り遼東新報主筆吉倉汪聖氏發起人を代表して開會の趣旨を述べ更に曰く『吾人の先祖は

馬を鴨綠に飮ふは

果して何れの日ぞと慨歎したが今は既に鴨綠は我が勢圏の內部を流れ吾等は遼河を渡り白河を越へ更に北は黑龍を渡らんとす吾が古來の歷史を見るに其の朝鮮に於ける邦人勢力の消長は實に我が民族の興廢を語るものにして朝鮮半島に我が力の充實せる際は內政振肅國力充足して民族雄飛の時期にして其れと同時に我が勢力の半島撤退は常に國內の疲弊を語るものなるは我が國民史の詳しく語る處なり然り

而して朝鮮半島は

曾て自ら我が勢力を自發的に退け爲め駐屯軍を引揚ぐるか或は支那たる事なく我が國家が內政整理の力に抗する事能はざりしが何れにしても朝鮮は古來强國角逐場となりて其の人民は塗炭の苦しみを受けたり然るに今日猶朝鮮人中には此歷史の

事實を覺らず巴里

會議の理想論に眞面目に振り翳して民族自決と號して妄動する者し其の歸趨何れに在りや彼等の爲め其の蒙を啓かざる可からず然り朝鮮半島は實に我が邦人の大陸發展の足習しにして又大陸に於ける根據地なり實に我が植民搖籃の地として愛すべく

其固有民族の康寧

を思ふ又切ならざるべからず茲に於て吾々朝鮮に在住したる者あり又は關係を有し朝鮮を理解する者又滿洲に在る者は之等の問題の研究者として最も適當なるを以て今後は時々會合して親睦を圖り意見の交換を爲さん事を希望し猶大邱朝鮮民報主筆山田武吉氏立つて『朝鮮の歷史を見るに古來常に或る勢力が北より或は西より半島を蹂躙し我が日本の如きは實に親族關係と同一の意味に於て長く南朝鮮地方と關係を保ちたるも極めて一部分に過ぎざりしが朝鮮併合は我史に一つの新時代を劃し此實力は古來常に壓迫を蒙りたる西北に向つて進展せんとしつゝあり之れ我が

朝鮮民族と合して

內地人及び朝鮮人の實際生活の要求にして兩民族は之の結合に由りて一つとなり共に其の生を尽くし幸福を享受し得る所以なり』と

離るべからざる

次いで大邱視察團より中原氏立ちて謝辭を述べ次いで中野署長は『我が邦より見れば朝鮮滿洲の兩國は密接なる關係に在るに係はらず從來其の關係極めて淡泊なりし兩者の經濟的關係は比較的少なかりしに因り朝鮮銀行、東拓等の大なる經濟關係あると雖も何れも特種の使命を負ふ所にして個人として更に兩者の間に有無相通の遺利甚だ多きを以て之等の點に留意せば兩者間に於て相利する處尠少に非ざるべし』と述べ稻垣甚氏の朝鮮懷舊談、齋藤久太郎氏の朝鮮實業談、圖山大嶽師の滿洲進出談あり一同歡を盡して午後十時三十分閉會せり(大連)

都三品行流 たかゆ 大平通り 多數陳列 晝夜開催 一二十二日間 京城日報社代理部

蠶況

繭の出盛 大田(忠南)

忠南大田郡下に於ける蠶兒は殆ど上簇し目下繭の出盛り中なるが本年の掃立數は千二百枚此收繭は約二百石にして昨年に比し約百石位の減收見込なるが之が原因は蠶兒の孵化當時に於て天候續きなりしより土地乾燥し桑の發育充分ならざるより水分少く掲げ加へて濕突而育なりし結果なりと而して目下の繭相場は一石百三圓十錢內地の相場は一石百十二圓位にて賣買さる

繭の入札 羅州(全南)

全羅南道羅州繭共同販賣所に於ける第二回競爭入札は山十組片倉組小口組其他十數名の入札者あり總數八百十六貫餘にて又特等十一圓五十錢新品種特等なし一等十一圓五十錢にて小口組外一名に落札し

農信

挿秧 全羅北道

全北の挿秧狀況は當年は早春以來雨量極めて少なく農家一般挿秧季節の水不足を憂慮しつつありしが先頃來降雨あり河川の水量增加し用水潤澤となりしより農民の歡喜一方ならず平野部山間部の別なく一齊に挿秧に著手し既に其過半を了せり全部の移植を終るは茲一週間の內なるべく然るに今後の天候順調ならんか今年は稀有の大豐年なるべしと一般に觀測しをれり(群山)

商況

株式

◎東京現株(至急電報)(▲印騰貴 △印下落)

銘柄	一株拂込	十九日中値
鮮銀	一〇〇、〇〇	△一九一、五〇
同新	五〇、〇〇	一四四、〇〇
京電	二〇、〇〇	六二、〇〇
東拓	五〇、〇〇	八六、〇〇
同新	三、五〇	▲四七、〇〇
殖銀	二〇、〇〇	▲五〇、〇〇

◎東京株式(至急電報)

銘柄	十九日前場寄付	前日比較
東株	一六一、〇〇	六〇高
同新	一三八、四〇	八〇高
滿鐵	一〇四、四〇	一、八〇高
一新	……	……
二新	……	……
滿糖	……	……

◎大阪株式(至急電報)

銘柄	十九日前場寄付	十八日後場比較
大株	三六四、一〇	六、九〇安
同新	三六九、五〇	三、五〇安
日郵	二八一、一〇	五〇安
同新	一四〇、一〇	一、〇〇安
商船	一九一、九〇	一、八〇安
同新	一三七、九〇	一、七〇安
鐘紡	三八五、〇一	……
同新	三六四、〇〇	六、八〇安
東紡	二六四、九〇	五、九〇安
東糖	一四九、九〇	二、一〇安
堂米	一六九、五〇	三、〇〇安
上取	一五二、五〇	……

◎京城現株(▲印騰貴 △印下落)

銘柄	拂込	現値
仁取	[illegible]	▲一〇九、五〇
鮮銀	[illegible]	一九六、〇〇
同新	[illegible]	一四七、〇〇
東拓	[illegible]	▲八六、九〇
同新	[illegible]	▲四六、〇〇
商銀	[illegible]	▲五〇、五〇
朝郵	[illegible]	四〇、〇〇
滿鐵	[illegible]	▲一六一、〇〇
第一	[illegible]	▲一三九、〇〇
第二	[illegible]	▲一〇九、〇〇
電興	[illegible]	一八、〇〇
長崎	[illegible]	二七、〇〇
東畜	[illegible]	▲一五、五〇
朝紡	[illegible]	二〇、〇〇
朝紙	[illegible]	三八、〇〇
商銀	[illegible]	六一、〇〇
朝毛	[illegible]	二九、〇〇
鮮煙	[illegible]	二三、五〇

▲仁取株百十圓　天井か非か

仁川取引所株は最近買氣再燃以來一週間を待たずして十圓內外の上伸を示したるが値上の割合に出合數極めて少なきは勿論品スレの關係もあらんかなれど昨今十四五圓なれば一應放さんと欲する者も現はれ居る處を以てすれば強ち品薄と云ふ程にもあらざるべく矢張り先高見越しの賣惜しみより影を潛め居るものゝ如く之等の手持筋は眞に株主たらんとする者は殆んど無く只眼先の高値を覘ふて利喰ひに出でんと待構へ居る者多く爲めに天井値の見定めにも付かんか賣物は頗る增加せんとする買氣あり然れども今日の處强氣の買望みは百十圓を最高値として夫れ以上の買煽りは手控へ居る模樣あり旁々本日の如き出合數極めて少なく百十圓にて五六十枚の商內を見たるのみなるが一面弱氣筋として傳へらるゝ處に依れば賣惜しみ筋の唯一の强材料とする手數料引下げ問題は當分の營業成績より推して焦眉の問題とは必ずしも云へず其の前途より不許可の內達ありたるや否やは取引高に於ても今日の如き數量は一年を通じて平均は取り難く而かも日仕舞石數大部分を占め居る關係上取引所の收益は案外少なかるべしされば此邊天井に非ずやと云ふ者あり之れ又一理の價値無きに非ざれば一說として掲げ置く

▲仁川も昂騰　先日來より定期の保合に商內も滯らぎし爲自然株界に影響して百五圓見當を伸悩みの形を示した仁川取引所新株は又復示すに至りしかば人氣沸騰して強氣筋は買氣を帶び本日の出來値百十圓と云ふ新株を以て六十枚金太仲買店の買ひに門畑商店の賣りで商談行はれしかば後人氣は益々强く一二圓を買進まん形勢を示し居るが如し

櫻麥 挽割麥 精麥所 京城岡崎町 福岡精麥所 電話長式六四

▲殖銀株內地高

殖銀株は一時五十圓處の商內盛んなりしが其の後急に影を潛めたるものゝ如く近時其の取組を聞かざるが內地にては同行第二回の拂込み近づきたるやの噂にて買人氣を煽りたるものゝ如く當時より四十八圓を唱へ居たる當地にて五十圓を上らざりしが昨日の東京入電は四十九圓九十錢を報じ小一圓方の昂騰を示したり當地にては未だ出合ひなきも買はんとすれば東京高を移して五十圓より五六十錢の上値を呼ぶべしと云ふ

▲東拓買氣旺盛

東拓株は最近內地に於て買人氣を煽りたるものゝ如く東京中値特電は小刻み乍ら日々昇騰を報じ昨日中値親八十六圓新四十六圓と報じたれば當地にても又買氣を喚起したれ本日新株四十七圓處の商內二九十枚の多きに達したり

▲東株又々臨休

本日東京入電に依れば東株新舊一立會は玉整理の爲め臨時休會の由なるが右は除戌無きに立至りたりとの事なれば紛議を醸したるには非ざるやと憶測さる

米況

下關期米特電　十九日前場(晴好)

	當限	先限
寄附	三七、五〇	三五、九〇
高値	三七、八〇	三五、九三
安値	三七、四〇	三五、八〇
止め		三五、八七

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店

仁川期米　十九日前場(保合一服)

▲第一節　今朝天候晴天各地入電延著なるも前日大阪上の當限三十八圓八十六錢先三十五圓三十六錢の保合に移し仁川も當中出來不申先三十八圓十錢と一錢高に寄付き後買物ありて一錢と下押せしが押目は强氣筋好く買ひて四錢と返し二三錢を保合ひ五錢と引 ▲第二節　大阪前場三十五圓三十六錢と氣丈の噂にて幾分買氣を催し當中出來不申先十錢を始めしが一般氣迷ひに四錢と押六七錢を保合ひ六錢と引 ▲第三節　當中出來不申先三十八圓〇三錢より七錢と引返し六錢と保合引 ▲第四節　當中出來不申十二錢より二錢と弱り五錢と據ね引 ▲第五節　當中出來不申先十七錢より二錢と押し三錢と上物結局保合に散會せり ▲市況　大阪の保合に當場一般氣迷を脫せず相場は釘付狀態にて八圓十錢より八圓ドタを保合ひたるが此分岐がいかに來るかは大阪入電の如何にかかるへし唯昆分は押目を買ひ高値を賣らんとし双方睨み合ひの狀態にて機會待ちの姿なり

市場雜觀

十九日前場	
寄付	三十八圓十錢
止め	三十八圓〇三錢
高値	三十八圓十錢
安値	三十八圓
◇出來高	四萬八千三百五十石
◇公定値段 一節	三十八圓〇四錢
二節	三十八圓〇八錢
三節	三十八圓〇五錢
四節	三十八圓〇四錢
五節	三十八圓〇四錢

鮮米の前途が氣遣しくなつて來た內地は外米輸入の不可能を見越して商人は鮮米に益々注目して邪々買付に着手して居るがなかなか今日の鮮米品質が良好で安く買手がなきのみか鮮高〳〵を唱へても前途を見越して買進んで來る斯の如き狀態では目先正米の安値は望まれないと思ふ夫に定期も劇高思ひで賣りて見ても一向下足が鈍いのみか動もすれば反撥して高値々々を逐て居る併し此頃の相場師は値に惚れて相場に振られ青い顏せし連中も多いが如何に鮮米は豐作でも移輸出力が增加しても其れ以上の歡迎をされて動かざるから內地正米は斷定して居るが何邊が買物であるかして安値を買つて置けば儲かるに極つて居る大阪高値を移して來たと思ふ込んで買付けば後は安移りに伸悩んで嫌氣がさして投げ退く向もあるが內地正米と比較して鮮米三十七圓は決して高い米ではない度は眼の醒めるが如き高値を出現せねば安心出來ないと買方たる某氏は安値は買狙つて居る今朝も立會は前日大阪の保合を移して人氣變らず三十八圓十錢と一錢上寄りせしも㊄好く賣りて〇一錢と叩かれしが㋑㋺其他より買物にて三錢を採合ひし橫先大阪前場三十五圓三十六錢と氣丈を移せし早耳筋の買氣に十錢と跳返したるも戾りは嫌氣投げも加りて〇四錢と弛みしが人氣は一般氣迷ひに保合相場を演じたが先日來の相場を採算すれば三十八圓臺は大阪の割に氣乘り過ぎの觀もあり旁々弱氣筋は値を摑み買物もあり居るも人氣弛まず三十八圓擱みは賣物多く潛在せる如く觀測せられしが兎に角大阪の成行に依りて此の勝敗は決するであらう

▲强氣の大勢觀

無意味に看過すな昨年の食糧供給問題は獨り日本のみに非ずして世界共通の大問題にて各國共に之れが對應策に苦心さし居る事なれば當局や弱氣筋が外米〳〵とロクセに云ふても意の如くオイソレと手輕に輸入する事を許さぬのみか外米の產地たる佛國政府は各國より食糧の缺乏を訴へられ其の配給に苦しみつゝある狀態なれば其れを見込んだ外米商は先廻りを爲し盛んに買進みし結果莫迦に暴騰を來して來た然れば當然にして當局に於ても鮮米の買付けを行ひて供給不足の緩和を圖らん意向を示し居れば無茶な安値は望み難く其の權威を競ふ仁川期米は人氣の消長で騰落を演じ居るも結局は賣方の不勢となり前高相場の一大爆發を演ずるならんと某大會社の外鮮米に通じたる强氣者は語れり果して如何

▲京城正米市場

買物は比較的多し雖も昨報の如く河筋產地高氣配にて買人腰强く安値は商談不折合にて必需口の進める外餘り乘出し手口なき模樣なり相場は地摺り力上肘五圓六十錢の廻米もありたる事とて買人は筋を持合氣配なるも何分河筋物もすれば下値に叩かん氣込みあり

▲白米更に値上げ

白米は他所注文に比し地場卸値の元來が割安なりし處原料は此數日來減切昇騰したるより更に不勤を告ぐるに至り此處に一段の値上けを促かされ今朝は四十二圓より二圓三十錢と三十錢方を引締め延べて小賣値も二十日より五厘高の一等米四十三錢二等米四十二錢五厘賣を實行する事となれり

▲京城在庫穀物高

六月十五日現在の京城在庫穀物高は左の通りにして前月末調査現在高と比較する時は其內の主なるものは玄米九千五百八十叺大豆七千八百二十叺籾約五百叺を減じ粟一千餘叺の增加を示せり
▲玄米五一、四四四叺▲白米四、四六二叺▲大豆一〇六、一六叺▲大麥二〇、一二四四叺▲小麥一、〇二五叺▲籾六、八五〇叺▲荏子一、〇六九叺▲糯三三〇叺▲小豆三、四〇七叺▲胡麻三、一六四叺▲雜穀四、五〇一叺▲粟二、四三八二叺

▲仁川正米市場

期米の爆發を移して買方に氣勢を加へし正米市場は益々高人氣を唱へ平澤三等神力三十七圓二十錢より動もすれば五十錢見當買進まんとする形勢を示したるも賣方に於て賣急ぐ結局三十七圓廿錢見當にて小口商談行はれし振合なるが內地正米筋も邪々高値を買來る模樣なれば現在に於ける在荷品の爲め煽りたる買約出來ず米に値を呼ばれて自然高步調の形勢にして地摺玄米も內地滿洲地方の白米の買注文存外高値を買來りて四十五圓見當を唱ふる好況なれば益々高く三十六圓見當に買進み居るも手持筋は容易に賣放たず精米筋も玄米の買付けに苦しみつゝあるが如し

▲釜山正米市場

內地期米十五錢安を入れしも市場賣惜みの爲め仕場手堅く三等神力三十七圓九十五錢處にて七千叺の商內出來せり大豆は保合商狀にて五百叺出來せり

三品

▲綿布漸次好調

大阪三品昨後入電は當五百八圓八十錢先四百六十一圓九十錢綿布三十錢…三十六番物十五圓二十錢十先十四圓九十錢と小康の移りなるも此處綿糸六期の五百圓臺の期待多きより三十錢臺は買物潛み居れるも此影けに底意强く粗布十先二十圓賣附にて氣配さすれば先づ二十圓四十錢と云ふ處なるべく殊に三エー十先に對しては別項の如き噂もあれば之が眞想判明の上は或は再び當地の獨特相場を演出せずとも限らず兎に角昨今冷靜の裏面には一大潮流の醸り居れるものゝ如く觀察せらる

▲粗布先の悲觀

綿布は昨今不需要期の折柄需要も閑散なるを以て粗布三エー現物は品缺乏ながら比較的沈靜の狀態を示し此處商內は總て思惑的に物置買に集注されつゝあるが其內の取引の多き粗布は七九物既に一流筋の手に渉らへられたるを以て現下の處十先賣買を主眼とせらるゝ中にも三エー票に至つては元來三エー票は朝鮮向として特に製織せらるゝ特品にして之が製織高は從來三ケ月間に於て約七千個內外と定め三井の手を經て全道に供給せられ來りしものなるが本年は需要の多き十月より十二月迄の限月に對する三井物產の約定は僅かに千五百個內外にて打切りしより製織會社に於ても機織を他に轉じたる趣にて同月の鮮內移入は前記數量を超ゆる見込みなく而かも物產にては最早約定品の全部は他に轉賣濟となれるか如く前記三ケ月間七千個は全鮮の實需消化を目標として從來移入の約定數批か果して噂さの如くなるに於ては十月以降の三エー供給大不足は免かれざる處にして又前途に於ける鮮內綿布界の大問題なりとて市況聊か動搖の色あり

◎橫濱生絲相場

(十八日午後三時十五分 總督府入電)標準物の賣行少なきも信州器械上一番格にて本日の見當相場二千九十圓(此の所電文宿不明)目先多少安くとも先行高見込押目買と思はる

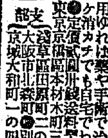
資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社 百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
電話 五八番・一九四番 振替貯金京城一一三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面竝朝鮮樞要の地に有

健胃固腸丸
登錄商標
下痢病と腹痛の良劑
常に本劑を用ゆれば消化を助け腸胃を强健にして惡性の下痢病に罹る憂ひなし
定價 十錢 廿錢 卅錢 五十錢 一圓 三圓 五圓
本舖 大阪市東區伏見町二丁目 谷田春堂
各地到る處の藥店に販賣せり
別に服用し易き小粒健胃固腸丸あり
小兒には專用の小兒固腸丸あり

外科 皮膚科醫院
瀨戸
京城旭町二丁目(舊三丁目)電話二四九八番
(診察夜九時迄)
醫學士 瀨戸潔

釀造高 五千石
品質醇良
天下唯一
齋藤酒造合名會社

男女兼用
りん病は藥では治りにくい
專賣特許りん病こしけ根治器
用ゆれば藥や手術で治らぬ數十年のりん病コシケ消カチでも自宅でわけなく根治する
定價武圓卅錢送料十二錢 說明書無代進呈
東京京橋區木材木町三の二五 新療法研究所
支部 大阪市北區森町二 京都市烏丸通魚の棚 京城大和町一の四九



大相撲 大田興行中 京城日報社

日本名刀傳 八十一

東京 田邊南龍講演

五郎正宗（七）

行光は涙を拭ひ『雨につけ風につけ其の女子のことを思はぬではなかつたが、つい〳〵今日迄其の儘にして置いたが、我が子が出來て居やうとは思はなかつた、あゝ済まぬ、お鶴、赦して呉れ、五郎、勘弁して呉れ、御目に掛つたことは無いが、お前の祖父様にも申譯の無いことだ、厚く菩提を弔ひませう』五『さては父上で御座いましたか』と取縋つてワッと泣く、五郎は暫くして五『なぜ御父さん、あなたは何日までも名前を他人に言つて呉れるなと止めてお置きなすつたのでございます』行『されば身を浄らかに齋戒沐浴して、御番鍛冶に出世をした私が歸り途とは言ひながら、不身持な奴だと世間の人に後指さゝれるのが辛いことゆゑ、それで口止めをして置いたのだが、能く其の言葉を守つて居て呉れた、お前の母に何と詫の仕様も無い、定めて不實な奴だと怨んで死んだことであらう、あゝ済まない、済まない、五郎や、苦労をさせたな、お前が刀鍛冶になりたいと言つたのも、皆死んだ母の引合せで、親子の名乘が出來たのだらう』五『ハイ、お父さん、私の親は東國の刀鍛冶だと聞きましたから、どうぞ刀鍛冶になりたいと心に懸けて居りました、どうか見捨てないで側に置いて下さい』行『オ、今改めて親子の名乘をして遣りたいが、女房お秋があの通りの邪見、一方ならぬ悋氣者、其上新太郎と云ふ子供があるから、今親子の名乘をすれば面倒が起り、継子いぢめと云ふいぢらしいことが出來るに違ひない、機を見てなんとか話をするから、それまでは矢ッ張り弟子の積りで居て呉れよ、決して悪いやうにはしないから……新太郎から見ると、お前の方が遙か優つて檜物師、後々には相州流の湯加減傳授、刀鍛冶の極意は吃度お前に譲つて遣る、新太郎は愚かな生れつきのやうだから譲つたところで迚も繼げまい、此家に劣けない程の大きな家を大きくなつたら持たせて遣るヨ、一生懸命に仕事を習つて偉くなつて呉れ、誰か來ると面倒だから、サア見世に行つて暫り休みな』五『ハイ有難う御座います』嬉し涙を拭いて五郎は見世の方へ行く、後姿を見送つた行光は涙を拭つて居ると後の唐紙がサラリと明いた、振返れば女房のお秋、行『オ、今歸つたか』秋『ハイ今歸つても、先刻歸つて、大きに御世話で御座います、私の家だから私が歸つたのです、それとも歸つては悪いんですか』行『コレ、何を怒つて居るのだ』秋『何も歸つて悪いとは言はない、新太郎い所に歸つて來ましたね、新太郎や私は歸つて來ない方が宜いんでせう、お前さんは斯んな不人情な人とは思はなかつた、呆れ返つてものが言はれない、モシ旦那、こんな立派な刀鍛冶に誰の御蔭でなつたのは誰のお蔭ですよ、左近太夫と云ふ身分に、冠木門玄關構へ、白壁造りの大きな家は一體誰が建てたんです、お前さんの力ぢやありますまい、私の父が澤山のお金を出して拵へて上げたんぢやないか、お前さん京都に上る時に何と言つて御立ちなすつた、精進潔齋とやらをして毎日々々水を浴びて身體を浄め、大切のお役目を立派に勤め了せたいと斯う言つて出たぢやアないか、まァ呆れ返つたものだ、旅先で子供を拵へて、其母親まで引取つて本當に頼んであるんですつて、本當に愛想もこそも盡き果てた、何と云ふ不行跡です、今考へて見ると餘り梱屋に纏を仕過ぎると思つた弟子小僧を置くのに、あんなにお金を遣る譯は有りやアしない、さうでせうよ、幾らお金を持つて行つたつて足りない譯さ、頼んである人が居るんだもの、……エ、私はどのみち邪見ですよ、客氣女ですよ、さうですとも、新太郎は馬鹿の生れつきですよ、阿呆でも馬鹿でもお前さんの子だ、うつちやる譯には行きますまい、エ、口惜しい』

◎安東經濟界（鴨緑江貿易と豆粕・柞蠶）

去月中より鴨綠江に出入する汽船の往來漸く繁く內地との貿易殷盛を極めつゝあると同時に釜山方面行の貨車配給も稍順調に運びつゝあるを以て安東の內地輸出貿易は非常に順調なると同時に先月來豆粕、豆油の價格非常に昂騰したると需用の激増したる爲め經濟界は未曾有の盛況を示し居れり殊に豆粕は內地米高に伴ひ需用甚だ旺盛にして從來、中國、九州方面及び關西地方を主として取引せられたるが近頃に到り更に四國方面の需用激増したるが如しと云ふ豆油は依然強含みにして大口の取引き多く仕向け地は神戸を第一とし大連經由のもの又尠からず時價は去る十六日百斤建二十四圓十八錢見當なり次に柞蠶絲は內地生絲相場の爆發的騰貴に連れ既に四百兩を突破し去る十六日上物四百二十兩を呼びたるも手合せ迄には行かざりしが如し、柞蠶絲は既に原料の拂底を告げ居る事とて價格の下落を見るが如き事なかるべし獨り木材は銀建市場との取引は依然大差なきも金建にて取引する滿洲朝鮮方面には採算引合はざる爲め當業者の蒙る打擊尠少ならざるが如し然れども一般より見たる安東の經濟界は空前の繁忙にして市況爲めに活氣横溢たるものあるが如し（安東）

◎新義州送電期

◆七月の中旬か下旬頃◆

滿鐵安東電燈營業所より新義州電燈會社に送電すべき動力は目下安東第二發電所へ百二十五基の發電機一基据え著け工事中なるが其竣工期は七月中旬又は下旬なるべきを以て工事落成と同時に直ちに送電する運びとなるべしと（安東）

◎競農會（陽德郡）

平安南道に於ける面の競農會は陽德郡地主會主催の下に去る八日開催せられたるが今その狀況を聞くに審査の期間は大正七年四月より本年三月まで一箇年にして右期間内に於ける各面農事改良を比較し各作物等の季節に從ひ審査を行ひ最も優良面に對し優勝旗を授與したるが其成績一等陽德面、二等温面三等、九龍面なりと

六月二十一日

（舊）五月二十四日 土曜日 暗劍殺 ひらく ▲きのへ、つ ▲東北 ▲佛滅 ▲八白 ▲氐

▼八白▲注意に越したる事なき日
▼九紫▲勇躍すべき日なり起業移轉旅行棟上婚禮金談等一切吉なり
▼一白▲誠意の先方に屆かぬ日也
▼二黑▲親み深き日にて恐らく終日愉快なるべきも散財を慎むべし
▼三碧▲長し短しにて纏まらぬ日
▼四綠▲兎角意氣の揚がらぬ日也
▼五黃▲床しきにて賑やかなる日なれど餘り深入せぬ様にすべし
▼六白▲結構な日にて思ひ立ちたることは決行して成功すべき日也
▼七赤▲仕事の上に儲かる事ある日にて何事も進んで行うて可なり

演藝案内

京城本町 大正館 電話八七三 （松井町 株式會社代理店） 六月廿日より特別大興行入場料普通
▲米國キーストン會社秀作 活劇滑稽 大眞珠 全二十五編 第一二編
▲伊太利 七眞珠 大冒險 全五巻
▲日本大劇 栗山大膳 全七巻
▲新派 喜劇 [illegible]

本町一丁目 壽館 電話一〇五〇 浪界の巨將東洋軒雷右衛門一行
▲建久曾我 ▲ロンドン電報 ▲放シ鳥 ▲忠孝美談 ▲力士と孝子 ▲一休禪師 ▲赤穂誠忠錄 ▲水府老公 雷右衛門

本町一丁目 有樂館改 喜樂館 電話九七番 六月二十日より特別映畫提供
▲米國パラマンド會社特作喜劇 ニコ〳〵劇デブ君の化の皮 貳巻
▲大活劇『名彈』 全五巻
▲舊劇『松平外記』 全六巻

京城本町 壽座 電話五七八 寳塚少女歌劇最終大興行
▲不思議の縁 三場
▲嫁入道具 三場
▲指環 二場
▲舊劇唐木の看板 三場
▲サッポロビール會社大々的後援

黃金館 電話二三六六 吉原花魁道中
▲活劇『獅子の仇討』
▲大活劇『覆面の呪』
▲舊劇『足利合戰』 全一萬呎
▲東家樂燕 開演

たしかに利益のある……米國式呉服や

コレカラ獨立する青年諸君の本業として農家、商家、官吏、老人の副業としてコレ程確で安全に儲かる商賣は外にない米國最新式販賣法たるチェンストア組織に依つて營業する時は僅五十圓の資本で月收六十圓位は確實である、詳しく内容を知らんとする人は東京麴町區飯田町關東織物通商聯合會發行の『呉服屋開業法』を見よ…（一冊九十錢外に送料を要す）本書を一讀すれば其日から此有利な商賣が出來る現に此商賣で成功して居る人が全國に二千人以上ある特約規定だけ入用の御方は郵券二錢封入東京九段久保澤呉服店地方部宛にて要求せよ……

◆橘古金著 定價一圓二十錢 送料十二錢
狂戀の人々
著者は戀をするなら狂へる程の力を示せ、そこに戀の力はある眞實の叫がある、人生の活力はそこから現れるといふた、これは眞理だ須磨子やほんた、芳川鎌子の如き色々な批評があるが、本書は此の人々の點が甚だ多い、たごり〳〵しき戀の道行を片端から評論した趣味の面白い書である、青年男女が讀んで悟る所が多いと思ふ、暫く品切なりしがやう〳〵第五版出來す、希望者はカワセ又は振替にて申込まれよ
振替 東京市小石川表町 三〇八六四 文洋社

粹珍 娛樂繪
青春男女の好む 內容見本目錄は三錢切手五枚送れ直に密送す
大阪市南區河原町一 菊水堂

牛乳 御用 病院 旅館 ホテル
京城東四軒町 岡野牧場 電話一六〇九番

◎花菖蒲御案内
御待兼の五千餘株の花菖蒲は今が見頃と相成候間切花御望み次第大勉強仕候 御來遊願上候
新龍山鐵道公園東側 丸山彩花園

神經衰弱
生殖器障害にて多年苦悶せる病者を救ひつゝあり今迄他藥効なくお困りの方は速に申越あれ詳細報告す
東京淀橋町柏木三四二 △△堂

▲美味なる 虫下し 最良藥
定價 五錢 十錢 廿錢 五十錢
岩崎大海堂 センメ 蟲下し最良藥 美味なる 子供さんとに ねくわー
商標 [illegible] 本舗 大阪天王寺烏居前 岩崎大海堂 ▲内外藥店にあり
主治効能 蛔虫諸症 疳蟲 蟲熱 夜泣の蟲 乳あまし 蟲腹痛み 疝熱の蟲 蟲胸悪く 勞熱の蟲 蟲せき 驚風の蟲
近來粗悪なるにせ物續出す烏居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ

質 （大口歡迎） 黃金町長橋町入口 田村質店 電話二九一 商品擔保便利取扱

りん病 で消渇
困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代お敎へ致し升
名古屋南かじや町 武藤亀吉

ヨクキク！ ひぜん 妙 香ひぜん水
大阪市外南海天下茶屋驛前北 本舗田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二六八番

くだりどめ 腸清
一服にて氣持よく止まる
（價 廿錢、五拾錢、壹圓、拾錢）
大阪市 本舗 高橋盛大堂藥局
◎至る所の藥店に販賣す

お孃様は女學校の四年生ですが、他の學科よりも特に英語がお好きなので、學校の授業以外に教師をこつて英語を毎日御勉強遊したので、近頃では歐文雜誌がすら〳〵讀めるやうになりましたレデースホームジャーナル（ladies home journal）といふ米國の有名な家庭雜誌中の珍らしいお話しをお婆様に聽かせて居ります。近頃米國などでも人蔘剤とか中將湯などの効果が大變認められて來て、こういふ東洋の靈藥には、中々西洋のクスリも遠く及ばぬ實際的効能があるといふことを、彼國の專門家が感心してゐるとお話しいたしましたするとお婆様は「なるほどさうでせう。中將湯などはあれは古來から効能で實たクスリで私共の若い時は心掛のいゝ婦人はみんな振出を缺かしたことは無かつたのです。一時西洋風ばかりか流行つて振出しは舊式だなどゝいふ人もありましたが、私共は何んと云つても振出黨でしたよ」とお答へなさいました

あゝそうですか なるほど……なるほど
國產靈藥 中將湯は
支那や朝鮮ばかりでなく米國にも
ごし〳〵販けて行く筈ですね
……お婆様の感心振……

血の道 子宮病
●子宮病 ●こしけ ●血の道
●血ぶさり ●産前産後 ●氣ふさぎ
●下腹痛 ●逆上頭痛 ●夜眠れず
●腰加答児 ●月經滯り ●腰足冷込
●痔出より ●帯下沸匪 ●つはり
●婦人神經 ●内臓炎 ●月經不順

本舗 東京 大阪 津村順天堂

京城日報

第五版

京城日報　ノックス案の可決

講和會議の局面轉回　ウィルソン氏の失脚

提示せられたる講和條約案に對する獨逸の回答期限は、明二十一日正午を以て滿了し、若し獨逸にして調印を肯んぜざるときは、聯合國の軍隊は即時に行動を起し、伯林に向つて進撃すべしと稱せらる。今日に於いて、講和の本尊たるウィルソン氏の本國に於いて、講和條約に對する非難の聲が漸次に擴大し、條約の批准權を有する上院に於いて最も甚だしく、其の外交委員會に於いて、去る十二日を以て所謂ノックス決議案を可決せるは、頗る奇妙なる現象ならずとせず。此の決議の內容は、一言せば講和條約と國際聯盟と連結するの非を鳴らし、講和條約は米國が戰爭參加の目的を達成するために、迅速に之を締結するの要あるも、國際聯盟は此の範圍外に屬し、且つ其案を承引するに於ては、米國憲法を修正するの必要あるを以て、輕々しく之に同意する能はずといふに在りて、大統領ウィルソン氏が數箇月心血を灑ぎて、築き上げたる聯盟案を一蹴倒壞し去りたる者にして、ウィルソン氏の立場を非常に困難に陷らしめたるのみならず、講和會議の全局面にも最も大なる波動を起すの虞なき能はず。現在の講和條約案に依れば、此條約は五大國中、三大國の批准に依りて其效力を生ずべき事を規定しあるを以て、たとひ米國上院が批准を拒否することあるも、他の英佛日伊の四國にして、其の態度を一にせば、別段の差障なきが如しと雖も、こは只表面上の理由にして、五大國中の大立物たる米國が之に加はるを肯んぜずして、別に單獨講和を爲すが如きは、講和條約の權威を毀損すること著大にして、或は是に依りて獨逸をして其の履行を澁滯せしむるやも知る可らず。殊に國際聯盟の如きは、米國を除却しては全く成立し得べからざるが故に、たとひ講和條約が成立すとも、其國際聯盟と相關する部分は、絕對に履行するを得べからず。されば巴里講和會議に於ては、當の敵手たる獨逸の態度よりも、寧ろ米國の輿論に就て、大なる懸念を爲しつゝあるは、亦理の當然なりといふべし。顧つて英佛に於ける輿論の傾向如何と見るに、講和會議が眼前の急務たる對敵講和を後廻しと爲し、不急の國際聯盟に沒頭して、徒に日月を費し居ることは、既に非難せられたる所にして、近來に至り英佛兩國に於ける過激思想の傳播、同盟罷業の續出より、經濟界の不安等各種の徵由よりして、平和克復の一日も速かならんことを翹望する、更に一層切なるものあらんとす。講和は米國上院の決議に共鳴し、講和條約の修正を餘儀なくするやも知るべからず。此の場合に於ては、國際聯盟はいふまでもなく講和條約より切放され、講和條約案中の國際聯盟に關係ある部分は削除訂正せられ、而して國際聯盟案は或は永久に葬り去らるべきなり。此如きは米國大統領の顏を丸潰しにし、殆ど其の政治的生命を縮むるものなりと雖も、其の火元は米國自身に在りて、他より起し來りたるものにあらざるを以て、苦情の持込み處なきを氣の毒とするのみ。更に我邦の立場より觀察するときは、國際聯盟なるものが實は一種の厄介なる羈絆に過ぎず、加ふるに我が正理の要求たる人種平等案を拒否せるを以てす、理に於ても情に於ても、何等之を支持すべき必要あることなし。吾人は寧ろ講和條約の迅速に締結せらるべきを希望するの理由より、國際聯盟を後日の問題に保留するを望むこと、米國上院の多數と其の見解を同うす。而も此の問題たるや、實に世界的の關係を有す、知らず其の落着や遂に如何。

錬塘錄　物外和尚　三笑生

◇備後國尾の道の濟法寺の物外和尚は、近代曹洞の豪傑僧であつた。天性磊落不覊、峭峻の禪機に加ふるに、武藝の達人で、殊に拳を能くし、驚くべき怪力があつた。そこで時人呼んで拳骨和尚と云つた。

◇或る時、和尚は當時有名であつた、新撰組の首領近藤勇の道場に強いて引入れられ、已むを得ず彼の臨みに任せて、立ち合つたことがある。其の時和尚は鐵如意を以て、出る奴共を片端から、續け樣に幾人となく打ち据ゑた。すると怒つたのは近藤勇、猛然と起ち上り、大身の鎗を提げて、阿修羅のやうに立ち向つた。和尚は徐ろに鐵如意を側に置き、頭陀袋から、二つの木椀を取出し『サア來い』とばかり身構へた。勇が『何を小癪な』と、滿身の勇を奮つて、繰り出した鋭い鎗尖アワヤ和尚の腹板を突き通したかと思ふ一刹那、ヒラリと交した和尚は、二つの木椀で、鎗の蛭卷をカチリと挾んだ。勇は焦つて引けども押せども、動かばこそ。小癪して和尚が『喝!』と一喝すると、鎗は勇の手から脫けて、二三間も飛び、勇は撞と尻餅をついた。流石の勇も我慢の鼻柱を折られ、膝容を整へて『和尚の御尊名は……』と手を支ずには居られなかつた。

◇和尚は、三原侯から非常に敬愛されて居つた。或る時參殿すると、左右のものが何となく、不興な顏付をして居る。和尚は、何事が起つたかと、密に訊ねて見ると、侯の手に入つた孤雁の圖に就いて『一體雁は、群て飛ぶべきものであるに、今孤雁の圖を得たるは、國の亂る前兆ではないか』と、神經を痛めて居つたのであつた。そこで和尚は、無雜作に『初雁や又あこからもあとからも』と賛をした。侯は之を見て、大いに喜び、左右の人々も、胸を撫で下した。何でもないやうであるが和尚の達觀的胸中を見ることが出來るではないか。

◇豪氣あり、勇膽があつて、而も優しい風流趣味に活ける、物外和尚の如きは、眞に所謂花も實もある豪傑と云ふことが出來やう。

電話規則改正要旨（一）

今回總督府令第一一六號を以て發布せられたる電話規則の改正要領左の如し

▲現行特設電話の制度は加入申込及び線路維持の手續其他工事施行上等の處理方頗る煩雜にして加入者は勿論郵便局の手數共に尠からず一般に其不便を認め之が改正の要望せるを以て今回特設電話規則を廢止し之れに代ふるに電話規則中に改正を加へ幾分の特例の下に普通一般の電話に近き方法を設け此等の不便を救濟することゝせり而して現特設電話の開始地には普通電話を開始し現在特設電話の加入者を收用せんとす其の要點左の如し

▲電話加入に關する土地の種別　中に指定地を設け其の指定地に於て加入せんとする者は加入に必要なる物品及び勞力を寄附すること及び電話開通後に於て移轉を爲すとき其の移轉先が郵便局より現位…

◇著作者 內村鑑三 ◇編纂者 內村鑑三 畔上賢造

內村全集 第壹卷

內村鑑三先生が日本基督教界の最高權威たるは今や極めて明かなり、先生が筆に託して其深遠なる思想を世に供すること既に二十年、其著書はドイツ、スウエデン、デンマルク、フィンランド等の國語に譯され、著者の名は日本に於てよりも遙に廣く歐洲大陸の新教國に知られ、實にその著作は質量に於て他の追隨を容さゞる特異の地位に立てり、これ獨り日本基督教界の誇物たるのみならず又洵に明治大正の日本が後世に傳ふべき遺產の最も貴重なるものなりとす。……讀者之を備へて自ら利すべき也

參版發行　四六判六百四十頁　上製天金箱入　口繪寫眞コロタイプ　定價三圓五十錢　送料內地十二錢
發賣元 東京京橋區尾張町 警醒社書店

有名なる アルボース 消毒石鹼 販賣元

支店開設廣告
今般平壤驛前ニ支店設置致候ニ付テハ一層勉強御高需ニ應ズベク候間倍舊ノ御引立ノ程奉希上候
㊇ 須川材木店
營業科目　鴨綠江材　豆滿江材　內地材　杉足場丸太
本店 京城岡崎町八七 電話長龍山四〇八番
支店 平壤驛前 電話八一七番
出張所 安東縣一番通り 電話四〇五番

問題の怪寫眞京城に現る!!!
米國パテー會社傑作連續大寫眞『鐵の爪』の姉妹篇にして笑の面マンレイに扮し絕大の人氣を博したるクレートヘール氏並に本邦初御目見得のモーキング孃出演
大冒險大活劇 七眞珠 全三十一卷の內 第一二編 五卷
食髮働くここを知らぬ野蠻國王の手から脫れた七つの眞珠が離れ〳〵に世界の隅から隅へ轉がつて行く……その行衛を搜す一つの珠にさへ何十人かの命が賭けられて居る誠に冒險と感動と奇談的挿話と史劇的色彩に富んだ變幻怪奇痛烈無比なる逸品である
問題の七つの珠は何處にある？鰐住む印度洋の果か獅子吼ゆる亞弗利加の果か問題の七つの球は何處にある？
日本三大騷動の隨一●尾上松之助十八番劇
黑田騷動 栗山大膳 全通し七千呎
日活會社本年度撮影空前の大佑劇にして掛て愛活家を熱狂せしめたる忠臣藏伊賀越仇討我兄弟以上の大作品五十二萬石の大々名黑田家亂れの顚末大膳忠義の一代記
米國キーストン會社特作 ▲ニコ〳〵大活劇 大眞球 全二卷
當二十日より公開 入場料普通
日活特約 大正館

◎普通試驗公告
本年八月十八日ヨリ京城中學校內ニ於テ普通試驗ヲ施行ス受驗志願者ハ七月三十一日迄ニ本府ヘ試驗願書ヲ差出スベシ詳細ハ六月十七日、十八日、十九日、二十日、二十一日、朝鮮總督府官報ニ揭載ス
大正八年六月
朝鮮總督府普通試驗委員長 宇佐美勝夫

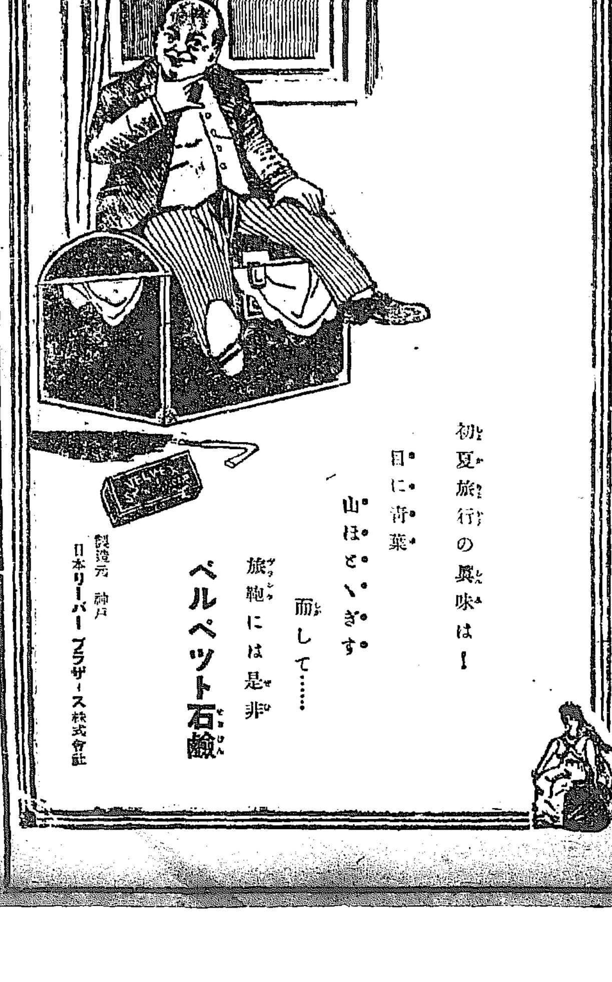
宇治 茶 自園 美濃部降福堂

時計は是非 京城本町 村木時計店

購買入札 バルペライザー京城外百四十九點 本六月二十日ノ本府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

最新刊
◇社會問題及運動 定價一圓八十錢 送料八錢
◇御札行脚 四國朝鮮 定價一圓
◇菊花秘訣 定價九十錢
京城本町一丁目 大阪屋號

確實は 弊店の生命にして信條なれば取引御安心を乞ふ
材木商 城山組 下関市岬之町 電話長二〇九番 振替下関五五一番



朝鮮語學界の羅針盤
鮮譯國語大辭典
國語の鮮譯は斯界の久しく期待して得ざりしものたり著者は夙に學を國學院に修め特に語學の造詣深く渡鮮後鮮語を研鑽せらるゝこと年あり公務の傍數人の助手を督し多年の日子を費し刻苦精勵漸く其編纂を終りて後金澤文學博士小倉文學士の二氏と林圭、玄櫶、李完應の三氏との間に於て嚴密周到なる對照的校閱を經たるを以て解說の徹底例語の豐富譯語の妥當間然する處なし殊に活字の新鑄用紙の精選印刷の鮮明製本堅牢等實に空前の理想的大辭典にして諸官衙學校銀行會社必備の寶典也
文學博士 金澤庄三郎先生校閱　文學士 小倉進平先生校閱　林圭先生校閱　玄櫶先生校閱　李完應先生校閱　船岡獻治先生新著
菊判總クロース函入 本文壹千貳百六拾頁 定價四圓八拾錢 特價金四圓三拾錢 送料金三十六錢
發兌 大阪屋號

尾張大根種各種 淺井彥三郎

特約販賣店 弘中商會 電話九三九番

精米。精麥上の總ての要件を完備せる
自働扇風器裝置 ナショナル精米麥機
斯界第一　實行　信用　成績
明治神宮御供米精白御用　御即位式御用米精白御用　農商務省農事試驗場御用　東京府立農林學校御用　各地品評會賞牌受領
發賣元 精工商店

雄辯家養成 演說講習錄

靈上御嘉納 畏き邊の御嘉納

龍山驛前 蠶種 東亞蠶絲會社 本社特製白龍 定價一枚金七拾錢 ▲郵便局ナキ地方ハ郵便切手御送付ヲ乞フ

繭 賣買 問屋 乾燥 規則申込次第進呈

日英水電株式會社製 良質 カーバイト朝鮮元賣捌所
川北製扇風機
■電氣事業出願手續 ■電燈、電力、工事計畫請負 ■私設電信、電話工事請負
朝鮮京城本町壹丁目 越田電氣商會 電話壹四參〇番

▲同 二級 渡邊よし子
▲三級 井上 青木傳三郎 馬場治太郎 中村寅之助 山口ミツ 松原セラ 坂本ミキ
▲四級 岩坪靜枝 池田マツエ 志田千代子 田中健男 土田耕太郎 仲西コギク 北崎 舟津ツギヨ 山縣豐 志水シヅエ 林トミ 原山初枝 淺池悅子

◇廿三日午後七時 對獨逸猶豫期間

講和條約調印の爲め獨逸委員に與へたる猶豫期間は六月二十三日午後七時を以て終る可し(巴里電報)

◇獨逸の對應條件

獨逸の對應條件はウイルソン氏提唱の十四箇條のみを容認する旨斷言し又陸海軍に就いては徴兵廢止に同意するも過渡時代の間は充分なる軍隊を備へん事を要求し上部シレシア、ザール河畔、ボーゼンの所屬決定に就ては住民の一般投票を要求しヘリゴランド要塞(獨逸)撤廢に同意し全植民地委任統治に同意し支那に於る獨逸の利權廢棄を聲明し擊沈船舶に對しては一噸に就き一噸の補償を爲すは不可能なりと言ひ獨逸國境外に於ける獨逸人の總ての利權を廢棄する事能はずと說けり佛白兩國に對し賠償の義務ある事は之れを認む又前獨帝審問は同意せざるも果して國際法違反の行爲ありや否やを確むる爲め中立的審問廷を組織せん事を提議せり(巴里電報)

◇フ元帥出馬す

フオッシユ元帥はリール(佛北部)方面に向け出發せるが若し獨逸にして講和條約調印を拒絕せんか直ちに進擊命令を發すべく待ち構へ居れり(巴里電報)

◇土委員陳述聽取

聯合國首相及び外相會議は十七日朝佛國外務省に於て土耳其委員の陳述を聽取し牧野男亦之に列席せり(巴里電報)

◇英首相近く歸國

英首相ロイド、ジョージ氏は近く巴里を去り數日間倫敦に滯在す可しと(巴里電報)

◇獨逸聯邦會議

獨逸聯邦國務長官は對聯合國回答案審議の爲めウイマールに召集されたり(巴里電報)

◇米國艦隊二分

亞米利加海軍局を二分せんとする軍令發布されたるが右は大西洋並に太平洋艦隊とせられ前者はウイルソン氏後者は海相ライコン氏各司令官に任命されたり(紐育電報)

◇米軍墨兵擊破

米國兵三箇中隊は墨西哥ヨアレを占領し現大統領ヴィラ氏麾下の兵を潰走せしめたるが其際米兵數名死傷を出せり國境部隊は何等の抵抗を受けず十六日午後撤退せり(紐育電報)

◇過激派軍敗北す

露國陸軍省發表に曰くデニキン軍は成功的前進をなしつゝありマイニツ河を占領し騎兵隊は同河を渡りてタンクル將軍の麾下に屬し目下コメチンスクより前方に壓迫を續けつゝあり去る五月二十九日までにデニキン將軍麾下の義勇軍は敵兵一萬五千を捕虜とし大砲六門を鹵獲し過激派騎兵二箇師團及び歩兵三箇師團を殆んど全滅せしめたる爲め過激派軍の第十軍は其兵力を大減したるならんと推せらる(倫敦電報)

◇結局田文烈か 安福派に人選を委す

徐總統は安福俱樂部に對し總理候補として周樹模、王揖唐、田文烈の三氏を擧げ其中より選擇せん事を要望せるが同派は、王氏に對して好感を有せざれば結局田氏を一兩日中に推薦す可し若し田氏の總理就任實現せば農商、敎育兩總長に新人物を擧げ[illegible]次長を司法總長に陞任せしむる外他は留任となるべし尙總統は周樹模に望を囑せるも周氏は安福派と或る關係あれば已むなく安福派に其選擇を爲さしむる窮策に出たるなりと傳へらる(北京電報)

◇段祺瑞 後繼意思無し

段祺瑞氏は北洋系督軍に電報を發し自己は此際內閣組織の意思無き旨を報じ他に適當なる人物を推薦し來らば讚力す可しと暗に田文烈氏又は王揖唐氏を推擧し來れりと此の意を述べたり(北京電報)

◇代理繼續希望

後繼內閣組織に就き張作霖氏は十七日中央に電報を發し龔心湛氏代理總理期間を延長繼續す可しと述べ來れり(北京電報)

◇孟督軍留任運動

孟吉林督軍の運命危急に迫れるが吉林省民は愈々孟氏革職に決定すれば假令孟氏に於て獨立宣言不可能とするも部下の軍隊に多少動搖を來すは必定にて省民の受くる迷惑甚大なりとして非常に憂慮し中央政府に對し右の事情及び孟氏の苦衷を訴へ一時孟氏の革職沙汰を慶い現狀維持を請願すべく一方孟氏の留任を運動せん爲め吉林省商務總會、敎育會、商議會、工務總會、農務總會等の副會長其他有力者十名十七日夜八時來長同十一時長春發北京に向へり(長春特電)

◇幣制局新總裁

幣制局總裁陸宗輿氏の後任は李思浩氏に決定せり(北京電報)

◇唐督軍留任電請

雲南督軍唐繼堯氏は父病氣の爲め服喪し廣東軍政府に向ひ別に督軍を任命されん事を請求せり爲に雲南百餘の高等官は連署にて軍政府に唐督軍留任方を電請せるが官界多少動搖の兆あり(上海電報)

◇小幡公使勸告

小幡駐支公使は十七日非公式に徐總統に對し留任を勸告せり(北京電報)

◇漢口九江靜穩

漢口は十三日九江は十五日以來各商舖開店し靜穩に歸せるが日本商人との取引は未だ行はれず(上海電報)

◇東京府知事後任內定

東京府知事後任は貴族院議員錦鷄間祗候山之內一次氏に內定せりと傳へらる(東京特電)

◇首相山公訪問

原首相は十九日午前十時山縣公を訪ひ午餐を共にし午後一時頃同邸を辭去せり(東京特電)

◇原口兼濟中將

陸軍中將貴族院議員正三位勳一等功三級男爵原口兼濟氏は十八日午後十一時半薨去せり享年七十有三(東京特電)

◇リユコフ少將東上

セミヨノフ軍經理部長リユコフ少將同軍監部長ヒリツポフ氏一行は十九日朝來長同正午長春發列車にて東京に向ひたり(長春特電)

◇川上理事一行

十九日午前八時半長春着列車にて川上東拓理事、[illegible]奉天支店長、吉植哈爾賓支店長來長同九時頃直ちに吉林に向ひたり(長春特電)

◎朝鮮の國勢調査

內閣統計局顧問 柳澤保惠伯談

朝鮮に於ける國勢調査準備狀況視察の爲め來城中の內閣統計局顧問柳澤保惠伯を訪ふ伯は曰く今日は明年以降に施行さるべき國勢調査の準備時代にして此準備時代に於ける諸官廳側の狀況及び之に對する一般人の

▲了解の程度と云はんよりは寧ろ如何に響せるかの狀態を視察したきが予の來鮮目的なり英語のセンサスなる語は國勢調査と譯されたるが國勢調査には人口調査以外に生產に關する、所謂實業調査等もあれど來年以降施行さるべきは其中の人口調査を行ふなり人口調査を爲すに當りては朝鮮は騷擾後の事故充分に調査の局に當るものが主旨を了解し同時に鮮人にも徹底的に之れを了解せしめてかゝる際に於ける流言浮說の無き樣望む所なり予一個の意見としては朝鮮は明年必ずしも之を爲さゞるべからずと云ふ理由なしと思はる場合により

▲二三年の延期は不可なからん鮮人に國勢調査の主旨の徹底を期せんとせば朝鮮人の巡回講師の如きを選任し今より各地に於て之を說明せしむれば效果を擧げるならん予が東京其他の地方に於て一部人口調査をなしたる過去に於ける經驗に依るに小學校敎員役場の書記等の調査委員の調査は比較的良なる實蹟を得たり巡査憲兵の調査に當るものは多少自己が犯罪あるものは畧見を恐れて隱匿するものもある爲實際の數字と違ふ場合の外巡査憲兵の調査委員は避けられたきものなり

▲調査員の人選には餘程の注意を爲さゞる時は折角の調査も粗漏なる數字を得て頗る無意義の者となるべし何れ今秋は鮮內の或地方を限りて五六箇所許り試驗的に模範調査をなす筈なるも夫には多少人心不穩なりし場所とか鮮內の出入頻繁の地方等を選ぶが然るべしと考へらる歐洲戰前世界各國中にて獨逸は最も國勢調査の普く施行され居たり然し同國の開墾地又は開墾し得べき面積等には餘程遺漏ありたるらしく延ひて食糧問題にも影響したる模樣なり亞米利加の如きは二千五百萬弗位を投じ十年に一回大仕掛に國勢調査をなし恰度來年は調査期に當れるを以て

▲二千萬弗位を投じて更に大仕掛に之を爲すべく又各國共に講和後は國勢調査に取掛るべしと思はる國勢調査のみならず一般の統計に就ても直ちに其數字に就て結論を與へず其の數字の依て來る所を研究するの必要ありそれに就ても予の疑念を抱き居るは朝鮮に於ける內地人と鮮人との人口比例は鮮人百人に對する內地人二名の割なるに傳染病患者の數は大正五年は內地人三千七百人に對し鮮人三千八百人大正六年は內地人二千七百人に對し鮮人二千八百人にて殆ど同數に近し人口數より見て朝鮮人の患者數が多からざるべからざるに殆ど同數を示せるは朝鮮人患者は多く朝鮮人醫師の治療を乞ふならん鮮人醫師は實際の傳染病患者を事實患者としての屆出を怠り居る爲めにあらざるか而して患者の內容はチブス赤痢等の者多きを以て保健と云ふ事に一層の注意を要すると同時に此等統計の數字に就ても備考又は說明を附加されたきものなり

◎米禁金緩和程度 盛り返せし財界の前途如何

片山朝鮮銀行理事の談

東上中なりし片山朝鮮銀行理事は十九日夜入城せり氏は語る

▲財界は好調 內地財界は近來頗る好勢を續けてゐるその因つて來る所は色々あらうが(一)講和條約調印後の世界的景氣恢復を豫想せる一般の心理狀態(二)休戰後戰時中に忍び來つた歐米列强の物質的慾求の起れる事從つて歐米殊に米國方面より來る莫大の註文(三)吾が邦のみとしては下半期の輸出超過見越し等を擧ぐべく海運界の盛返し金融界の繁忙株式の活況等も畢竟その邊から來てゐると思はる唯今日の景氣が尙ほ持續すべきものか否かは人によつて所見も異ならうが大體米國の戰後の景氣歐洲列强の物資需要と云ふ事は現勢より見て俄に挫折すべしとは信ぜられず吾が國に於ける戰時中の財力膨脹は夥しいものであるからその景氣の現象化もあり俄に財界が悲境に陷る如き事は先づなからうと予は見てゐる

▲米國禁金緩和 最近の問題たる米國の禁金緩和も如何なる程度のものであるか、予の滯京中は遂にその確的な程度を知り得なかつたが要するに從來米國は金貨金塊の輸出特許主義を執つてゐたけれど殆んど絕對に特許を與へなんだのを今後準備銀行で差支ないと認むれば輸出を特許する事となり大に緩和された譯である、去り乍ら日本や南米の數國が米國に對する國際貸借上貸方に立つからとて矢鱈に金塊を輸入しやうとした場合米國のレザーバンクが果して無制限に特許を與へるか否かは疑問である乃で日本としては

▲禁金緩和影響 從つて今の所極めて多量の金塊が直ちに米國より輸入されると思ふのは或は見當違ひかも知れず又如五圓を超えて價に復すると云ふ事は恐らく急には望まれぬかも知れぬ唯從來全く斷絕してゐた金の出入が制限的ながらも今回流通したと云ふ事は假へば管を兩國の間に通して際限の影響の及ぶ事は當然と云ふべく正金銀行の米國爲替のレートの如きを通はすやうのものであつてその金塊輸入感望時代に定めたものは緩和に決定後直に引下各爲替銀行と同一の歩調をとらんとしてゐる

▲留廢札前途 對支投資に對する吾國銀行團並に資本家の態度も新聞に傳へられた以外多くの進展はないやうである又オムスク政府でケレンスキー紙幣一千留並に二百五十留の流通禁止令も予の東京出發までは發報ばかりで實現の通知を見ない、此方の流通制限は小札のやうに手輕に行けぬ事情もあるらしく思はる

◎鮮鐵荷動狀況 (三) 京管局調査

▼豆粕 需要季に際し內地市場よりの買付漸く繁く爲めに相場又稍硬化し殊に鴨綠江上流より原料大豆の出廻り頻繁となりて生產次第に增加し取引活氣を呈せり而して本品の鐵道輸送は安東廻航船舶の著しき增加により幾分緩和せられ前記の如六千九百餘噸にして前年度の船腹不足時代に比し二千四百九十三噸を減少せり殆んど安東發にして又大部分內地行きとす

▼鹽干魚 東沿海一帶に於ける鰊の漁期にて元山發前月に引續き出荷殷賑を呈し約三千噸に達せり又南沿岸に於て鯖の大漁あり氣候の關係上鮮魚の長距離輸送困難なる爲め鹽魚として出荷稍好況となり總數量に於て前年度に比し二千百餘噸を激增せり而して端節句近づき鮮人の需要多く殆んど沿線各市場へ分布せられ又遠く奉天方面へ輸送せられたるもの尠からず

▼石材及セメント 土木建築季節に入り荷動き稍見るべきもののなきにあらざるも本月の出荷數量は石材四千六百十九噸セメント一千二百七十二噸にして之を前年度に比すれば前者は三千五百六十七噸後者三千八十一噸の大激減なり盖し之は前年度に於ては兼二浦三菱製鐵所及勝湖里淺野セメント工場建設用の需要多量なりし其の主因と見るべし

▼薪及木炭 農繁期に於ける出廻り困難を早越し大口の買付盛にして荷動き活潑となり多大の增加を示せり京元、京義線發にして京龍着最も多し

▼金物類 兼二浦三菱製鐵所製品の內地移出殆んど船便に移りたるを以て少からず減少したりと雖も一方大連方面への新規輸送あり尙一般工業界の隆興により諸材料の仁川釜山等經由搬入多く鎭南浦發大分行粗銅及相應あり總數量三千五百四十五噸を輸送せり

▼肥料 施肥季に入り鰊の內需移出活氣を帶び尙鮮內に於ける農業の盛なるに伴ひ內地より人造肥料の移入を促進し荷動き良好となれり (完)

◎西岸內地航路

全國商議聯合會可決

在京中の京城商業會議所會頭原田金之助氏より全國商業會議所聯合會に於て西海岸航路開始の件に關しては大阪神戶門司下關と頗る順境を加へ原案可決されたる旨十九日京城商議大村書記長に宛て通知ありたり

◎市田オフセツト增資

大阪市田オフセツト印刷會社は當地の有力者江澤次郞氏入つて重役たり經營の任に當り居れるが今回內外への發展に對應するため資本金五十萬圓を百五十萬圓に增資し一層印刷界に活動すべし尙ほ大阪市外野田に新築中の大阪本工場は今秋竣工すべく更に同社にては上海工場も計畫中なり

◎主要驛收入

五月中に於ける朝鮮線主要驛取扱收入を聞くに左の如し

南大門一九七〇四二圓▲仁川八五九九圓▲新義州扱所共七三三九九九圓▲釜山六六四五四圓▲平壤六六二九二圓▲鎭南浦五三三八三五二圓▲大邱五二一圓▲新安州五三元山四六七二三圓▲群山二九一四四圓▲大田二一六龍山二六九五〇圓▲木浦二一一四五〇圓

◎軍司令官表祝

七月四日は米國獨立記念祭に相當するを以て宇都宮軍司令官は副官を隨へ米國領事館に到り祝賀の意を表すべしと

◎鮮銀總裁歸期

東上中の美濃部鮮銀總裁は決算期切迫その他要務處理のため來る廿一日歸城の旨通知ありたりと

◎安東縣知事後任

安東縣知事陳藝氏は今回奉天中國銀行總辦に轉任其後任として前新義州知事倪發氏任命せられ不日着任すべしと(安東縣)

◎出張辭令 (十八日附)

遞信事務官 島田志良

東京市へ出張を命ず(豫定三週間)

土木局技師(元山出張所) 池邊稻生

出府を命ず(豫定五日間)

人事消息

▲小島七郞氏(西伯利新聞社長) 哈爾賓へ歸還の途次此程內地より入城滯在中のところ廿日出發の豫定

▲後藤瑞巖師(臨濟宗朝鮮布敎監督) 十九日朝發南鮮各地巡錫

▲守屋此助氏(前代議士) 滯京中のところ廿日夜七時五十分南大門發列車にて釜山に赴き同地二三泊の上歸東の途に就くべしと

▲落田砲兵大佐(侍從武官) 二十一日夜北鮮より入城

▲今村鞆氏(新任元山府尹) 目下滯城中なる氏は二十一日午前七時五十分南大門驛發列車にて元山に赴任すべしと

▲金潤晶氏(全北參與官) 十九日夜入城京城ホテルへ

鳥瞰錄

歐洲大戰は總てのものに一大變化を與へて居るが特に英、米、佛、伊の諸國は直接關係したのだから其變革も甚だしいらしい▲內でも法令の如きは濫發に亂發を重ねて非常に多く英國の如きは從來の不文法では間に合はないと云ふので戰時中にも上る法令を雨の樣に出して居る▲中には馬渡の間に合せもあるが消極なのになると口笛禁止令迄が堂々と法令になつて出て居る▲倫敦から傷病兵病院の附近では絕對に口笛を吹く事を禁じ犯す者は[illegible]の罰金に處すと云ふのである▲其禁止理由は口笛は戀人を呼出す際に鳴らすものであるから其聲を傷病者に聞かせるのは慘酷だと云ふのだ▲自由の英國人も米國人も蜘蛛の網の樣な法令で締められて居るが存外不服は云つて居ない之が戰前であつたなら大分議論にもなり相なのが澤山あると▲大隈侯曰く、尾崎が先年東京市參事會室で刺された時參事會員等は皆色を失つて騷いだが江崎一人は泰然として居た▲一同が豪い膽の据はつた男だと思つて居たら矢ぞ知らん實は泰然腰を拔かして居たと云ふ話がある▲巴里の我講和委員も初めの中は大いに意見があつて故らに沈默を守つてゐるのだらうと列席者から買被られたらしいが▲實は泰然として腰を拔かして居たのだからお話にならぬとは何時も乍ら口の惡いおぢいさんだ▲京城商議の大村書記長は座禪もなか〳〵堂に入つたものだ相ながそれかあらぬか膽答頗る當意卽妙▲昨日も外米商鈴木繼藏を殺害した山田農學士が何故金を奪つた上に手や足を切り取つたかが話題に上つた▲書記長破顔一番して金を取つたら足を切ると相場がきまつてる▲足が付くとイケないから足を切つたのさは大笑ひ而も書記長自身では秀逸ではないと言つてる。

私立京城鐵道學校

本校電信科生徒ヲ募集ス年齡滿十四年以上十八年未滿尙詳細事項ハ本校ニ就キ承合スベシ但郵便照會ハ郵券二錢添附ノコト

龍山鐵道構內

市況依然强健

△當分或は持合か △大勢は無論向上

財界の大勢は好材料をこそ加へたれ何等悲觀すべきものなけれ共警戒の念は更に加重し來れるかの振合あるは掩ふべからず隨て昨今相場一服の姿にて目先一持合ひ持合ふものとして果して又安持合か將た高持合か而して持合後は下放れか或は上放れか値頃丈けに强弱見解大に相異るものゝ如し[illegible]

公債株式現物問屋 新田耕市商店

京城櫻井町一丁目 電一八八一・二三九〇

今廿日より大提供 續いて來れり! 松之助の奮鬪劇

千代田及傷川德大奥秘史

松平外記 全六卷

總ての內容は充實せり

米國ヴ社高級映畫 活劇 名彈 全五卷

大活喜劇 ニコ〳〵デブの化の皮 卷二

萬活直營 喜樂館

內地產各種雜木

鹽地、栓、欅、槻、樫、桂 新荷著

座敷用材唐木類

鴨綠江產 紅松、杉松、落葉松、原木

各種雜木 板類、小割材、多數

京城黃金町二丁目 (電話一二四八番)

正 材木店

其他內地產杉檜板類晒竹各種並に燒板荷著

▲當店は製材工場の設置あり机、椅子類の木取りは勿論一般製材の需に應じ期日は最も確實に納品可仕候得ば不拘多少御用命被成下度候尙御一報次第見積書直ちに御送附可申上候

少年世界

京味充滿 七月號 出來 東京本町 博文館 振替東京二四番

三角湧の激戰 大川村將 / 雨の卯太郞 巖谷小波 / 漁師の子 加藤朝鳥作 / 海岸の修學旅行 / 紙上遊戲 突貫競爭 / 父を戀ふる海 山內秋生 / 冒險航海 漕げよ漕げ 西垣海軍大佐 / 少年物語 私のポチ / 少年小說 銀貨

少女世界

評繪 / 怪塔の外國人 / 不思議なダイヤモンド / 利巧な少女 / お伽 眠り藤 / 少女家事心得 / お使に行つた時の話

京城府旭町壹丁目三番地

齋藤齒科醫院

電話一四一四番

診察時間 自午前八時 至午後六時 但日曜日ハ午前限リ

院主 齋藤英壽

齒科醫學士 齋藤鶴雄

梅雨中は

殊更害虫の附き易き時お衣裳は勿論お大切の品には藤澤樟腦を絕さぬ樣御注意あれ

登錄 商標 藤澤樟腦

▲定價 小形 金五錢 中形 金十錢 大形 金十五錢 甚石形 金二十錢 各地藥店にあり

魚釣具 及 投網 卸賣 小賣

(御用命次第定價表送呈) 釣用カスミ網各種あり

京城永樂町貳丁目 吉備商會 電話三壹四番 振替京城四三八番

◇京株式 [illegible]

◇大阪株式 [illegible]

◇神戶期米特電 十九日前場 [illegible]

仁川期米 [illegible]

京城 今阪 京 普通料金 四十錢 割引料金 廿五錢

發行兼編輯人 奥田直毅

◎アルサス見物記（五）

有名なストラスブルク港　山賊の巣窟が武士の巣窟

本社特約員　上田碩三

再びラインの鐵橋を渡つて河上のストラスブルグ港を視る、市の商業會議所の會頭が來て港内の案内をする海を距る事約三百哩の大陸の眞只中に大きなクレーンや倉庫が並び立つて折柄の曇天に

▽對岸も見ねぬ 大港、道にラインの大きさと共に獨逸の經營の如何に大規模なるかが察せられる、戰爭後の事とて未だ大船の出入するを見ないが、ライン河を守る佛國の河上砲を乘せたる小驅逐艇や彈丸を運んだ小艇が五六隻、戰に疲れた樣に碇泊して居た、會頭の説明によれば港はラインの河と共に數條の運河を以て佛國の要都は勿論瑞西、獨逸及び白耳義の諸市と

▽交通が自由 で今に大陸物資の中心となると云ふ、蓋し事實であらう。港を去つて町に入り午前十一時ストラスブルグ停車場を發してコルマーに向ひ南走する、折柄天氣晴朗となり和かい日光は車内のスチームと共に心地よく温めて呉れる、やがて眼界頓に展けて左右一面の平野、前にも述べた通り戰爭の後とて多く耕作を見ないが何樣坦々たる沃野果てしもなく、僅に芽を吹いたらしい

▽葡萄が盛り 小麥が一面に芽生へて質朴なアルサシアンが其間に交つて收穫を樂むの光景は自ら眼の前にちらついて來る、左方遙かに霞の樣に見ゆるは獨逸の山々である、右方手を伸せば屆く樣に蜿々として連るはヴオーヂユ山脈である、其の山の頂きには例の古城が見へる、古城は車の走るに從つてパノラマの如く幾つとなく山の影に隱顯する、

▽其昔伊太利 の商人は團體を組んで伊太利の絹物や其他の商品を携へて此平野に出でラインを傳はつて和蘭に商ひした其往き來るさを待ち受けつゝ山を下つた山賊の群は是等伊太利商人を此平野に脅かして其金品を奪つた、城と城との攻め合ひも無論絶へ間なく行はれた、而して山賊は固より此の地方を領する城主で互ひに武をのみ練勵んだ、而して此邊一帶の地は後世歐洲に發生せる

▽武士の巣窟 となつた、ストラスブルグより約五十分コルマーに着く前十分にして此邊山脈の絶頂と思はれる山嶺に嚴めしく屹立する城廓は是れ即ちカイゼルのホツホケーニヒスブルグである車上より之を臨めば城は正に劍を立てたるが如く山の絶頂にそゝり立つて見るからカイゼル式の城廓で彼はアルサスを獲るや直に古城の粹を選んで改築を命じ毎年一度は必ず此山嶺の城廓に來て

▽カイゼル鬚 を捻りつゝ東に自國獨逸、西に佛國の平野を瞰下し、シヤーレマンの昔を偲んで其の野心の爪牙を磨いた。

◎伊勢に離宮　御造營か

小橋内務次官及び塚本神社局長は十四日宇治山田市に出張し何事か調査する所あり右に關し或筋の傳ふる所に據れば宮内省にては山田或は二見方面の離宮御造營の御内議あるやにて兩氏の出張は右離宮御造營位置選定の爲めならんと

◎十六年振りに行賞　日露役の戰死者三名

日露戰役に從軍した士卒の中戰死又は負傷死亡したまゝ種々の關係上行賞洩れとなつてゐた兵卒三名（姫路師團）に對し十六年振りで左の通り行賞の御沙汰があつた旨發表になつた

陸軍步兵上等兵　寺坂乘麿
叙功七級授金鵄勲章（年金百圓）叙勲八等授白色桐葉章（明治三十七年六月二十七日附）

陸軍步兵一等卒　小谷萬次郎
叙功七級授金鵄勲章（年金百圓）叙勲八等授白色桐葉章（明治三十七年十月二十六日附）

同上　友定友八
叙勲八等授白色桐葉章（同年九月二十五日附）

因に金鵄勲章の年金は死後一箇年分を付與する定めであるが右二名に對しては一箇年半分の百五十圓を付するものであると云ふ

◎木内前知事の公判延期

京都府會議員瀆職事件及び木内前知事に係る公判は來る八月一日より二週間開廷すべき筈の所書類の不揃ひなると且暑中休暇中なるを以て九月迄延期せられたり（京都）

◎私立學校　生徒の出席振　成績頗る不良

京城府内鮮人學生の近狀に就きては屡々記載する所ありたるが彼等は今尚其の意思の安定を得ざるにや此の頃又復缺席者增加し十九日府内私立學校の出席者を調査するに養正校は在籍者百八十九人中一學年三十四人二學年二十人三學年五人四學年二人計六十一人にして缺席百二十八人を生じ培材校は一年生のみ六十八人出席し二三四年は全部登校せず普成校は在學生三百六人中四十八人出席徽文校は二百八十六人中百五十四人出席[illegible]校は百四十二人中三十九人出席し四年生は一人も登校せず中央校は百三十八人中一年生六人二年生五人三年生一人にして四年生は全部登校せず孰れも其の成績不良なり

◎婦人も定期叙勳か　月々に行はれる

去月二十二日勅令を以て軍人の勳勞あるものに瑞寶章を賜ふの件を公布せる結果本月下旬發表の定期叙勳中に宮内省關係者又は學校職員中にて叙勳せらるゝもの十數名あるべく婦人の官吏は男子に比し極て少數なるが今後は毎月定期叙勳の際夫れ〲發表せらるべしと

◎鮮滿觀察の學生團　此の夏は一層多からう　母國人の觀念が一變した

東京滿鐵鮮滿案内所　坂本政五郎氏談

關釜連絡船で取つてゐる統計は先づ最も確かなものと見ねばならぬが是れに依ると滿鮮への移住者は年々激增してゐる即ち鮮滿に行く者の數と歸るもの、數との差引が鮮滿に止まるものとなる勘定であるが移住民で無く只視察の爲めに鮮滿旅行をする人の數は實に年々殖く計り

▽激增を來 してゐる尤も視察に行く者は啻に朝鮮ばかり視察するのでなく滿洲へも行くので朝鮮だけの視察を目的として行く人は其處で事業を興すために調査に行くのであつて是れは十人の内に一人位しか無い滿蒙の鮮滿案内所をわざ〲東京に設けたのは廣く朝鮮滿洲の鐵道に關する案内に當ると云ふのが表面の理屈だが實際は鮮滿の事情を巨細に

▽廣く紹介 し是等の地方の開發に僅か乍らも貢獻したいと云ふ精神であつて其効果空しからず漸次鮮滿地方を理解する者が殖ゑて行く即ち視察旅行を希望するもの、激增するのを見てもそれだけ一般の人々が興味を以て來たと見做してもよいだらうと思はれる朝鮮地方に對する事業熱の非常に勃興したのもそれ等の結果であるかも知れないと大いに喜んでゐる學生の視察團體も近年大いに其數を增して來た今年の

▽暑中休暇 を利用して鮮滿地方を視察に出掛けんとするの計畫を立てゝゐるのは目下の處第一高等學校と慶應義塾大學であるが毎年の例に比較すれば今年は是等學生團體の渡行は多いだらうと豫想される女子高等師範學校では殆んど鮮滿視察が年中行事の一の如くされてゐるが初めは

▽お百度を 踏んで勸誘したのであるそれでも容易に動かなかつたが最後に至つて漸く七名の希望者が出來たそこで愈々教師二名附添いで巡遊に出かけたが歸京後鮮滿方面赴任希望者が此の七名の内より二人出たのである同地方が是等學生の爲めに如何に望みを囑されたかは是れを以て見ても明かなる處で學校側の驚きも亦非常なるもので是ではといふので翌年又も視察團體を組織した然るに今度は一躍

▽十七名の 希望者を生じ其翌年には二十名餘りとなつた次第であるが是れ等の爲めに內地の人々の滿鮮に對する觀念は頗る變動を來したらしい斯の如き現象は鮮滿地方發展上實に喜ばしき事と思ふ當案內所員も多大なる興味の下に是れが便宜を計ると共に內地の人達の奮發を促すべく努力してゐる次第である（東京支局）

◎各方面に波及　東京檢事局大活動　山下支店長は山田技師に金時計を贈つた

東京地方裁判所檢事局にては十八日夜徹宵活動を續け十九日朝も依然活動を繼續し主任檢事は殊更東京監獄に出張し收監中の山田以下山下支店長等を嚴重に取調べ一方其他の檢事は各方面に出動し神戶大阪方面の商店をも取調べ中にて愈々事件の擴大を推知し得らるゝが湯淺商店支店長等の收監は外米指定商として諸種の便宜を得んとし山下は山田技師に金時計を贈り此時計は山田が收監さるゝまで所持し居たる事より發覺せるものにて同樣の事實は他にも多々あり是等は山田の口より夫々繰出され事件益々各方面に波及するに至れり（東京特電）

◎孤兒農場の此頃　稻の植付と養雞

去る大正四年より創始したる東大門外の濟生孤兒院養育部の農場は孤兒中年齡十四五歲に達したる者を一團とし百町步餘の官有地に於て農業を爲さしめ其自活法を立てしむる計畫にて著々進行の途に在り現在の耕作者は二十歲前後の者約四十名にて目下稻の植付中なるが未だ農耕に從はざる者數名は五六十羽の養雞を爲し又各種の農業的手仕事を爲しつゝあり、因に婦女の孤兒は概ね良家に貰はれ養育さる、爲め同農場には目下一人もなき次第なりと

◎娼妓の大立廻り　朋輩を負傷せしむ

新町遊廓元祿の抱ひ娼妓彌五郎事田代たかの（一九）は豫て支那人某と馴染を重ね居たるが朋輩の力彌事西川姉（二一）同名は彌五郎の貧ツ子ないね（一九）及び由良之助事三浦るら弱々彌五郎に度々罵詈雜言を與へたることありしが十三日夜件の支那人登樓のことより彌五郎と力彌は口論を始め由良之助も力彌に應援して大立廻りを演じ彌五郎に數箇所の創傷を負はせたれば彌五郎は其旨本町署に屆出でたり

◎漢江へ飛込む

高陽郡恩平面碌磻里百七十七番地崔姜順文（三五）は十九日朝九時頃漢江人道橋より投身せんとする處を京城府掃除人夫に抱き止められたるが取調べの結果四五年前他かぬ別れを爲したる妻戀しさに悲觀し覺悟の自殺を圖りたるものなりと目下龍山憲兵分隊に保護中

◎自轉車屋から府へ　競技場に就て註文する

鶴川自轉車店主談

府の競技場新設に就いては我々同業者輪友會の方でも屡々問題として攻究しました愈々競技場が新設されることとなれば我輪業會も

▽幹事會を 開いて意見を府廳に申出やうと考へてゐます從來の處は土地が狹いので三周一哩とか四周一哩とかの大トラツクは要求出來ないとしても自轉車のトラツクとしては是非一周百五十間以上のものが欲しい大島技師の談話に見ゆた二十間の直線部ではヘビーの懸けやうがありません

▽五六十間 の直線部なりスピードが出るのです然し場所の關係であれ以上の大きさなのは出來ないとすれば止むを得ませんから訓練院の方に立派なトラツクを造つて欲しいものです京城日報の朝鮮の如きトラツクでも鮮內各地に現存ある際前の廣場などに較ぶれば無論上乘で

▽遊び半分 の自動車競走なら充分出來ますコーナーのカーブも勾配も先づ適當でせう競走路面は矢張り赤土に砂を混ぜたものが一番よい兎も角小さいながらトラツクの出來るのは喜ばしい事であると共に此機會に於て官民共に協力し訓練院に全鮮第一の立派なトラツクを造る事に努めたいものです

合併大相撲と我社

我社の相撲道奬勵

京阪合併大相撲の來鮮に際し一行の景氣を添ひ且つ讀者諸君の興味を深くする爲に左記各項の催題を提供致します。

◆優勝力士に銀盃贈呈

京城興行五日間の最優勝者（横綱大關を除く）に對し大銀盃一個を贈呈して其功勞に酬ひやうと思ひます、これは本社が斯道奬勵の爲に特に出した問題で力士も眞劍になれば隨つて觀客たる讀者諸君も餘程興味を感ぜらるゝこと、思ひます。

◆番外お好みや五人拔

鮮滿巡業中は本社各支局より毎日一組宛番外お好みを出すと共に京城興行中は毎日幕内の番外お好み、幕下力士の五人拔き、或は初切などの面白い餘興を御覧に入れます。

本紙愛讀者の福音

◆木戸錢四割引の特典

是は釜山興行以來實行して居りますが京城興行中も勿論本紙刷込みの割引券御持參の方と張の木戸錢四十錢を廿五錢に割引する事になつて居ます。

◆面白い勝負豫想懸賞

京城興行五日間に於ける好取組中左の十組に對する勝負豫想を懸賞募集致します、勝と思ふ方へ○印を附けて本月廿六日迄に『京城日報社相撲係』宛寄書を御出下さい、寄書の方法は例年本社が春夏兩場所にやつて居るのと同じです（○は大阪方）

柄木山（對馬洋）　大錦（源氏山）　宮城山（宇都宮）　鳥海（海山）
常の花（大門岩）　稻柳（大錦）　一港（駒泉）　釋迦嶽（泉）
（兩國）（朝日山）（御西山）（稻の花）

京城日報社

◎大邱大相撲　二日目の盛況

大邱に於る合併相撲の二日目（十九日）は初日に劣らぬ盛況を呈したるが一行は二十日午前六時四十分大邱發列車にて大田に乘込むべし重なる勝負左の如し（大邱特電）

瀧の海（上手投げ）高の山
光風（寄り切り）朝千鳥
貫（外掛け）西の森
若常陸（寄り切り）五十嵐
綾川（打ち遣り）釋迦嶽
一港（下手投げ）海山
宇都宮（寄り倒し）稻の花
福柳（寄り寄り）大門岩
大泉（下手投げ）宮城山
源氏山（吊り出し）常の花
御西山（寄り倒し）朝日山
大錦（押し切り）對馬洋
栃木山（寄り切り）大錦

▲勸進元好み栃木山五人掛りは一分間にて逆鉾、達の矢、釋迦ヶ嶽、一港、鳥海の五人を薙ぎ倒したるには場内割れんばかりの拍手起り本社支局好みの五人拔は初日より一府の人氣にて勝は常陸島に歸し京城山川氏の好み五人拔は大勇の勝に歸せり

◎群山大相撲　初日の取組

京阪合併大相撲群山興行は來る廿二、廿三兩日の豫定なりしも前興行地の都合により廿三日初日廿四日二日間興行の事に變更したるが本年は東京大阪の精鋭を網羅せる三百餘名の大一行なれば興行日切迫と共に群山は固より全州江景裡里金堤非邑等は激く全南地方より團體觀覽の申込殺到し盛況らしき前景氣なり初日の主なる取組左の如し（群山）○印は大阪方

柄木山（對馬洋（大門岩
大錦（大錦（朝日山
常の花（宇都宮（逆の矢
大泉（稻柳（稻の花
御西山（兩國（宮城山
鳥海（源氏山（海山
綾川（逆鉾（一港
西の森（朝日嶽（五十嵐
若常陸（高の山（光風
釋迦嶽（朝千鳥（瀧の海
陸奥（大江嶽
南龍（貫

◎南大門傭人採用　市內南大門驛にては年齡五十歲以下の者數名（學力小學卒業程度）を募集する由

演藝

▲樂燕の初日 二十日より黃金館に出演の筈なりし浪界の大立者東京樂燕は大連にて沸くが如き好評を博し一日日延べをなしたる爲當地乘込みも自然一日遲れ二十一日初日を打つ事となりたり、樂燕初日の讀物は軍神乃木大將と孝子辻占賣の會見△義士外傳梶川與惣兵衛と決定したるが本興行中と雖も連續寫眞『覆面の呪』は上場する由入場料は特等一圓五十錢、一等一圓二十錢、二等一圓、三等八十錢（軍人學生に限り特に二十錢）と云ふ勉强振りなるが本紙讀者に限り割引の特典あり（割引券は次號に掲載）尙今夕一行乘込みの際は漢陽公園より煙火三發を打揚ぐる筈

▲七眞珠 大正館にては二十日より連續寫眞『七眞珠』を上場する筈なるが本寫眞は曾て大喝采を博したる『鐵の爪』の姉妹篇にして舞臺を土耳其に取り國王の秘藏せる七種の眞珠が紛失せる爲意外の波瀾を生じ終に驚くべき冒險活劇を演ずると云ふ近來の快寫眞なり其他主なる寫眞は日活最近の撮影として好評ある佐劇栗山大膳、滑稽大眞珠等

▲喜樂館 二十日より新寫眞へ實寫夏の富士山△活劇デブ君の化の皮△大活劇名彈△舊劇松平外記

▲黃金館 二十日夜及び二十一二日晝間に限り左の寫眞を公開する筈△喜劇ニコチン中毒△滑稽泥試合△實寫吉原花魁道中△冒險活劇獅子の仇討△連鎖寫眞覆面の呪△史劇足利時代
尙本興行より南郷公利、石田旭花の二歸士出演する事となりたれば一層の好評を博するならん

▲鶴松會初會 鶴澤紋糸、同三造の鶴松會にては三造の名弘めを兼ね來る廿二日より三日間毎夜六時より浪花館に於て初會を催す由初日の語り物次の如し
八陣（一號）太十（くに）壺坂（叶）いざり湧（昭惠）良九（醉星）三味線三造、紋糸▲大切七福神總掛合三味線八千代、佛子、三太、町奴、紋糸、三造

流氣五香湯

主治効能　せんき、せんしやく　神經痛、リウマチス、白血の道　産前産後の特効藥なり

三百年來有名なる西覺寺　せんき妙藥の

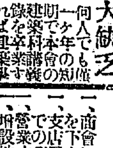
定價　貳圓也、壹圓也　七拾五錢、四十錢　廿五錢、十錢

岐阜市上加納　西覺寺

全國到る處の有名藥店にあり

建築技手養成急

今や建築技手大缺乏



君等は足　現はす　任るに？

を極め建築學得業士の肩書を得て現場監督設計技手等に高給を以てスグ採用される●會員大募集●見本付會則無代進呈此際特典有

一向人でも僅一ケ年の短期で本會の建築科講義錄を卒業すれば建築學全般の奥儀

東京市麴町區九段　帝國工業教育會

廣告

鮮人店員　李興龍

右者不都合の行爲に付て解傭致候間爾今弊店と一切關係無之此段廣告候也

六月十八日　京城本町　釘本樂器部

本日と廿二日晝　提供新大映畫

新派　女兵士

▲連續活劇　第二　覆面の呪

▲新規撮影　舊劇　足利合戰

一拾壹日より御待兼の　東家樂燕　來ル

黃金館

支店長募集

一、商會は今回左の箇所に支店を增設す純益一ヶ月三百圓以下五十圓を下らざる事を責任保證す
一、支店長希望者は相當教育ある有妻者にして八百圓以上千五百圓までの資金を投じ得る者に限る但午前中[illegible]
一、營業方法並に契約等は本人面談に限る
一、增設地　大邱、新義州、[illegible]、群山、木浦、鎭南浦、安東、奉天、長春、撫順、鞍山等

本舖　大阪三休橋北詰　東京日本橋通四　有田ドラッグ商會

京城黃金町三丁目電車通　有田ドラッグ商會　鮮滿監督部

一日毎に効めが見へる

梅毒　りん病毒　身體諸毒　一切除去　ものは

毒掃丸

定價　廿錢、四十錢、六十錢、一圓、二圓

本舖　東京神田花房町　大阪高麗橋東　山崎帝國堂

夏物頭飾品賣出し

六月廿一日ヨリ五日間

御添へ物進呈仕り候

ヒスイ　細工物　半ゑり地　化粧品　いろ〱

京城本町　日の丸小間物店　電話一九二〇番

支店　大田　中江呉服店

相撲　大田興行中　社

みだれ咲き

第六十四回 島山碧波作 森田久畫

初江夫人は自分が山中家へ留め置かれると云ふことよりも、肝腎の家出と云ふ悲しむべき出來事を歎いた。

『ヒヨツとしたら市川へ行つたのかも知れ無い』

憤然として奥へ入つて來た出宮を初江夫人は我れにも無く獨語を洩した。伯父の出宮に對しては疾つから腹の黒い人と云ふことは看破して居たが、眞逆に是れ程とは思つて居なかつたのだ。

『一體私を斯うして置いてどうする量見なんだらう』

初江は山中一家を横領しようと企て、居る出宮の眞意を疑つた。

『朝鮮から御前や節子さんが戻るまで私を此の邸へ留めて置く量見かも知れない』

斯う思つた初江は、其の時こそ今まで重んじて居た義理と云ふ二字を捨て出宮の企てを素破抜いてやらうと思つた、自分があらぬ濡れ衣を著て今のやうな境遇に泣くのも其の原因を訊せば出宮の昔の執事村田と共に企て居る秘事を知つた爲めなのだ、彼の女は今しも往時を追想して居たが、から夫へと思ひを走せて居たが。

『私を此のまゝ歸さなかつたり、萬一にも盗人の汚名を著せるやうな其の時こそ今までの佛が鬼になつてやらう、何事も不可抗力の運命と諦めて居れば、夫れを宜いことにして私ばかりでなく操子や龍雄を苦しめる奴、乾と夫だけの報復はしてやるッ』と心の内に叫んだ彼の女は。

『然し操子はどうしたのだらう、廣い庭内に力と頼むのは運轉手の牧野ばかりだのに、其の牧野にも知らさずに何處へか行つたと云ふのは實に不思議千萬だ』

奥座敷はモウ眠りに就たやうであるのに、此の部屋へ連れ込んだまゝ、一碗の茶も持ち來らぬのみか既に人々は夢路に入つて居るのに布團さへ持つて來ぬから、初江は大なる不快の念に驅られながら山中家の將來と、我が腹を痛めた二人の子供の行末を案じて居た。

『あら三時を打つた』

彼の女は其の音に驚ゐのある柱時計が三時を打つた時、我れにも無き聲を出して耳を傾けると外に激しい雨となつて風さへ出て來たやうであつた。

『斯んな晩にあの子は何處に居るのだらう』

運轉手牧野の厚意に依つて、物置小屋で會見はしたが、幸か不幸か悲しい物語の半ばに邪魔が入つてしまつた。彼女は其の時のことを思ふと自分達に厚意を寄せて吳れる牧野に一目逢ひたかつた。多くの人目があるので、夫れも出來ないのは熟く判つて居るが、能ふべくんば神明の加護に依つて牧野と會見がして見たかつた。

『事に依つたらあの人が操子を何處か安全の處へ移して置いてあるかも知れない』

牧野を絶對的に信頼して居る初江は斯んな考へまで胸裡に浮んだが。

『兎角度胸を据ゑて邸に居て見よう』

車軸を流すやうな雨の中、雷鳴と共に雨戸の隙より射しこむ稻妻が凄い。

『おう雷まで鳴り出した？』

千々の思ひに胸が張り裂けるやうな初江は、偶と座敷の外に人の窺ひ寄つたやうな氣配を感じた。

『あら……』

身を護るの武器こそ無いが、ケ一にも自分に危害でも加へるやうな者があらば、眼に物見せて吳れようと油斷なく身構へをした。

『狼藉……』

障子に觸れた衣擦れの音がハタと止むと、座敷の外から初江を呼ぶ者があつた。

『何ですッ……』彼の女は凛乎とした聲を發して外に立つた者に訊した。

『シッ……』外では慌て、誰何すると初江を制止した。

鍼灸 本町三丁目(東側入) 藤井百太郎 濟生堂 專門 胃腸病、リウマチス、喘息、神經痛、腰痛、小兒疳、脚氣、婦人病 其他諸病

京城の名物(京城南大門通三) カフェータイガーの アイスクリーム

○脂肪が附たら斯う處理しなさい

著物に脂肪が附いた場合には揮發油またはベンゼン、エーテル等を小形の器物に入れ汚點の付いてる箇所を湯氣に温めこれを柔げた後摘み入れて振るか、若くは板上に白布を敷き其上に汚點部を置き更に其上部より揮發油、ベンゼン、エーテルを吸はせた白布で輕く幾度も打つか或は汚點の付いてる布片がブラシで摩擦つてもよいものだつたら小さいブラシに揮發油、ベンゼン、エーテルを吸はせ輕く織目に沿うて摩擦り汚點が無くなつたら手早く吸ひ取紙で殘りの溶劑(揮發其他)を吸ひ取器で乾燥かしなさい

日報歌壇

天野 瑟滴
工夫等のいこへる丘に赤々とつゝじの花は咲きゐたりけり
○
北村美左夫
日の落つと見ればそこらの歩の穗のひゆれゆれて日は落ちつくす
○
松井 秀水
惟多き戀にはあれど眞實のわれは思へば泣かされにけり
○
雨野一水郎
提灯の火はさみしくもさもりつゝさへきの空の雨雲の濃し
○
須賀 勇
淋しさにわかのぼり來し草丘に同じ想ひかかちからすなく
○
岡島 沙東
ゆく春のみどりあまりき園のにあはれ牡丹はくづれんとする
○
井上 高子
初夏の風に吹かれて旅役者太鼓につゞき町まはりするも
○
可都美
連翹の花さきそふ踊庭よりさ霧は立ちて雨ふれる日で

入澤大人の青島赴任を送る 不案
初夏の雲の白さよ陸の上波路もさもにつゞかなくあれ

投書の領分

▲呆然、若は出來ないか萬人共通にいやな感じのするのは女が若くして[illegible]を吸ふことだり[illegible]の宿物な歩みながらし廻すことだ共に女らしく男らしくないと云ふ點に一致する(木魚生)▲美き猫の子あります御入用の方は一千まで(京城若草町一〇六闘栗)▲成葉の候になれば夜中葉樹園盗難に罹りて困ります故盗難豫防兼知器の樣な者を求めたいが何處に賣り居る故薬樹園或は農場に擬する者の商店に教示を乞ふ(五心坊)▲三春南兒！兄のお名は『劍作』誌上に拜見してゐます。きけば兄は渡鮮せられて我々と同じ京城に住んでゐられる由、何れであるか此の欄まで御一報を乞ふ、本月號の『死な思ふ日』の御作に依つて推すれば何處かに入院せられてゐるらしい御樣子ですれ、いそぎ兄に御面にかゝりたいとのぞんでゐます(和泉町十一村田比呂夢)▲大田崩翔生は定めてお困りでせう三回年前胃病に罹り寄効ある藥の製法を私の知人が知つて居たので早速こしらへて貰ひて七週間あまり服しましたら一ケ年近くも苦しんだ慢性胃病もすつかり快癒しました其後多くの人に用ゐ悉く全快されましたが其薬は右に[illegible]ますから御差支なくば欄に御住所氏名を御知らせください病らしく手紙で御通知致します(不可生)▲永原の御老女ほあなたは此[illegible]の御蔭で忙がしく[illegible]さん[illegible]

新刊紹介

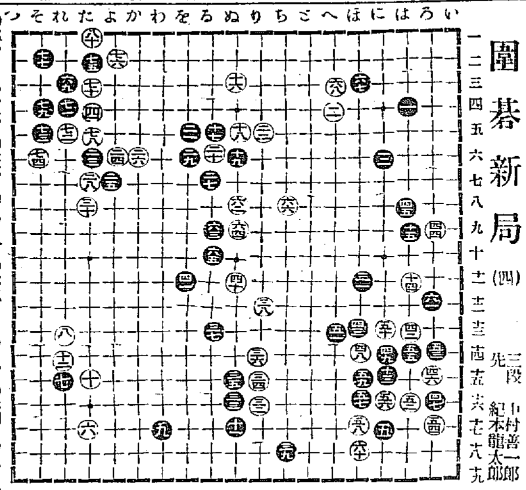
▼日本外史(大町桂月譯) 日本外史を極めて解り易く俗譯せるもの、本書は其七篇に當り織田氏の時代より豐臣二氏の前半に亘れり、日本外史の興趣多きは人の知る所、譯者又斯くの如き人の名に隱げては第一人者の評ある人、行文の妙は原文に勝るものあり其目次の二三を擧ぐると信長暗殺の計畫、秀吉の大勝利、信長宗總に謁す、信長京都に入る、北軍の松明を見て決せず等(一圓東京市日本橋區本町博文館)

▼木材立木尺締材積計算法(林學士上原敬二編著) 木材立木を取扱ふ者は日常其取容積即ち高さを測り直徑を知り材積を求むる機會に接觸すること少なからず此都度一々之れが算法を行ふに於ては唯に時を勞費するのみならず亦誤謬に陷り易し本書は此目的の爲めに就ける技術者の便法たらしむべく日常必要なる項目のみを選み最も簡捷に其目的を果さんとす主旨によりて編纂せるもの關係者の重寶となるべし(七十五錢東京神田錦町三の三叢山堂)

人參 京城本町壹・電話一四八〇番 一八七〇番 ツ 津村兄弟商會

圍碁新局(四)

三段 中村喜一郎
先 紀本龍太郎



●六一 ろの十二	○六二 ぬの八	●六三 ろの九	○六四 ぬの九		
●六五 ろの十	○六六 さの八	●六七 ほの三	○六八 への三		
●六九 れの三	○七〇 たの三	●七一 れの四	○七二 れの五		
●七三 それの五	○七四 そのの六	●七五 たの二	○七六 まの二		
●七七 そのの二	○七八 たの五	●七九 その四	○八〇 たの一		

神經衰弱

◇◇治療は積極的に
◇エクレスの偉力

世の中が進んで來ると軍事に化學に工業に醫學に、其他の多くの事業がだんだんと複雜して來て、生存競爭は日に月に甚だしきを加へて來る。我々も最早や

◇勞力の競爭

から進んで知識の競爭で勝敗を決しなければならなくなつて來た。從つて腦力の過勞は頭痛だとか神經衰弱だとか、或はヒステリーだとか、さうした神經障害から起る疾患がだんだんと增して來る事になる。世界に於ける神經學專門の大家として聞えたクラフトエービング氏さへ、神經衰弱を絶滅しやうと思へば文明の今日を太古の過去に退化せしむるより外ないと云つた位、即ち文明病とでも云はうか、兎に角避け難い病氣である。そして

◇其の原因は

身體精神の過勞◇睡眠不足、過飲(酒類、煙草)朝寢の過勞等の比較的單純なものこ遺傳的、月經異常、萎黄病、胃加答兒、消化不良、生殖器の障害、便秘、哀怒哀樂等精神の感動等に起因するものもある。兎に角人間の元氣を消耗する病氣であるから放つて置いては小は一家の不運であるのみでなく、大にしては元氣なき國民を持つ國家の不幸となり國運の消長にも關する譯になる。從つて假令文明の副産物であるとしても、吾々は出來得る限り原因を除いて

◇精神的勞働

にて世界を併呑◇する氣力を養はねばならない。症候としては些とした誘因から悲憤哀愁に念を起し、精神感動の變化が激しく來た場合などは殆ど狂的の動作をなし、遂に發狂する事なども間々ある。又頭が重かつたり頭痛がしたり、記憶力が減退したり、精神を一と所に集中する力が薄くなつたり、根氣が缺乏したり不眠症にかゝつたり、兎に角この一つでも感じる事の出來る人は慥に神經衰弱症にかゝつて居るのである。殊に

◇晩春初夏の

季節には周圍が◇非常に華やかで、聊かの事にもすぐ精神が亢奮し易い、感動し易いそして不養生不衛生をし易いからどうしても色んな病氣を誘發して延いては神經衰弱症を起し易いので、頭を使ふ人は尠くも豫防として適藥を求める事が必要である。醫書に依れば療法として精神的轉地療養をするとか、海岸或は山中に業を徐々に減じ、全身感傳電氣を施し又は按摩法を用ふるとか冷水摩擦、正規の戸外運動をする

◇肉類を選び

清酒類や煙草茶◇珈琲等を節減して便通を整へる事などを示して居るが、多くは消極的で、複雜多忙な社會に處し活動しつゝ療養すると云ふ方法は殆ど示されて居ない。然し吾々に取りては尠くも活動を阻止さる事は死刑の宣告にも等しく、月進月歩の社會の進運に對して飽く迄積極的に活躍したい事こそ望む處である。そこで日本橋區室町の泰昌製藥會社では、高橋博士が指導の下に之が根治藥を研究する事多年、そして腦神經衰弱、頭痛其他神經障害から起る諸病に奏効卓絶な製藥の調製に成功し『エクレス』と命名して、斯病に苦しむ人に

◇一道の光明

を與へる事を得た◇

普通醫師等の投藥に依ると、臭剝ブローム・ナトリウム、ブローム・アムモニウムを各八瓦宛調合して十二包にして用ゐたり、サブローム錠(〇、五)或はブロームフエルザン錠(〇、五)等であるが、これ等の各の特性を具有して居るのが『エクレス』で、今や神經障害の患者には救世主の如く思はるゝに至つた。價格は十錠二十錢、卅錠五十錢、百錠一圓八十錢で大要到る處の藥店にある。

東京日本橋室町
發賣元 泰昌製藥株式會社

人類生活の妙機と生殖器障害

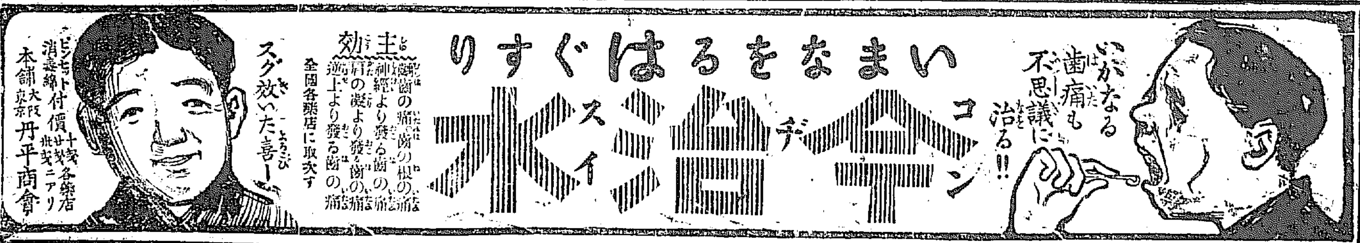
◇神經衰弱症の爲めに、生殖器の變調や不自然な狀態となり、初め遺精、夢精、衰弱、早漏により遂に陰萎に陷り、天與の機能を全ふする事が出來ないで、有爲の才幹を抱きながら憂鬱不快の淵に呻吟する人[illegible]

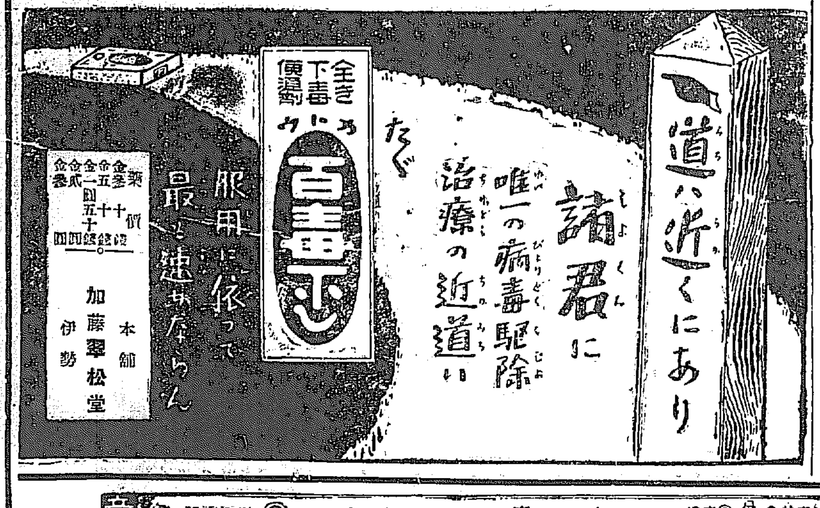
[illegible]障害に適切なる藥物療法として村布施兩醫學士の實驗推奨せられたゴスペールを今直ぐ用ひよ……
一回の用量僅に一錠
價 藥六十錠入金壹圓 百二十錠入金貳圓 錠入拾圓 送料十錢
東京下谷區長者町 竹島製劑所
發賣元 東京本郷 吉田萬珠堂

謹告 無效の特約店に販賣す

京日案内

▲御報參上 本町二丁目 群書堂
▲古本熱心高價買入 是非御試賣を乞ふ 電話三一九五番 峰岸雜貨店
店員入用 齡十五六歲以上卅歲以下の者但身體强健にして市内確實の保證人を要す(電話二三六五番) 京城本町五丁目
古ミシン高價買入 電話又ハガキ御一報次第參上 京城鍾路二ノ二七 電話一三三八番 楠商店
○うづら 改良市川系奈良鶉の成功は第一に親の撰擇第二に飼育法の完備 武錢送れ飼育法送呈 奈良市井上町 市川鶉飼育研究所
ゴム玩具大賣出 △定價表御入用の方へは無料郵送 京城太平通二 電話二六〇六 太陽ゴム商會
六神丸 定價二十粒 一圓五十錢 但送料要セズ 京城長谷川町七五 中華醫院 電話六七五番 振替京城六二二三番 藥局





女が見ても惚々するほどの奥樣の若さ美しさ、一体何をお躾けになりますと寄ると觸ると皆樣からのお質問攻めに逢ひ、それが「美乳」の不思議の效果に感じ入ります、と申すのも「美乳」は從來有觸れた化粧品の類と根本成分を異にし塗けた第一日から生地に對する白色作用美白效果が目に見えて驚かれますばかりでなく之を常用すれば絶對に小皺を寄せぬ力がありますから妾のやうなモウ人の母として日々化粧でもない者の皮膚でありながらタツタ一滴の「美乳」を忘れぬお庇でコンナに美しい膚、若々しい艶、それ故に妾の家庭は美乳のみを愛用し婦人の最大幸福を最大限に享け入れて居ります、妾の秘密は「美乳」の外に何もありません……

定價 美乳＝貳拾五錢 純白美乳＝參拾錢
家庭で美乳――外出に純白美乳!
本舖 大學白粉本店 矢野芳香園

○造船復活傾向 [illegible]中なる廢工場の復活を見るに至る[illegible]

○珠算試驗成績 京城管理局
▲二級 林田花子 勇士悅造 何正子 佐吉末廣 大園ミチ代 野口シゾ
熊谷ハシエ 水上タツ 津田ワサ 石山ウサノ 中村ヒサコ 有江エイ 河野美子
▲五級 中川ハギノ 大田光維 [illegible]

京城南大門外停車場通 有田ドラッグ滿鮮本部 電話二五六番
京城黄金町三丁目 有田ドラッグ 電話一八三番
龍山鍾兵場前 有田支店 釜山大廳町二丁目 元山本町三丁目 平壤櫻町十二番地 仁川宮町二丁目 大連浪速町 ヅッラドク支店
◎朝鮮のにせ物 京城、龍山、仁川等各地に にせドラッグあり購着せ來ざる樣御注意を乞ふ
全國の都市に支店あり 有田ドラッグ
◎花柳病藥王藥は治癒とし梅毒藥王藥は驅梅内服藥として醫學上最有効と確定し歐米醫科大學病院等にて賞揚配劑せる高貴藥なるも保證する若し前述の證言に違へる事を發見せる時は分析料百圓進呈
◎あらゆる治療を試みても効きあらざる患者は一度來診あれ
にせ物あり 大阪有田 販賣元
りん病 ばいどく 有田ドラッグ 大阪市 三休橋 百圓進呈
東京日本橋通四 大阪心齋橋筋 有田ドラッグ

李王職御用 模範牛乳 ニウソ 石鹼 洗粉
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話一二五番 主任 太正[illegible]

東京三金の靴 ボックス水牛 二圓五十錢 ボックス深ゴム 一圓九十錢 [illegible]
注文の際は靴の寸法と見本の寸法と知あれば代金引換にて御送附申上候
▼御見本付御用命の向は御申越次第御送附申上ぐべく候
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九・一七二〇 振替東京一七二二〇